

竣 工 図 等

資料 3-1 竣工図及び厨房機器配置図

資料 3-2 修繕等履歴

資料 3-3 施設譲渡前修繕工事（作成中）

竣工図及び厨房機器配置図

(仮称) 千葉市大宮学校給食センター新築工事

着工時 :
竣工時 :
施工者 : 鹿島・旭建設共同企業体



株式会社 I N A 新建築研究所
東京・札幌・東北・大阪・九州

訂正			発行		作成	プロジェクト名称		プロジェクトコード	一般建築士事務所 東京都知事登録第 5199 号 管理建築士 龍門 達夫
						(仮称) 千葉市大宮学校給食センター 新築工事			
						467711			
			承認	確認	担当	図面名称	縮尺	図面番号	一般建築士登録 第 177289 号 佐藤 英昭
						表紙	1 / -	01	

第1章 一般共通事項		第2章 施工関係		第3章 施工関係		第4章 施工関係		第5章 施工関係		第6章 施工関係		第7章 施工関係		第8章 施工関係		第9章 施工関係		第10章 施工関係		第11章 施工関係		第12章 施工関係		第13章 施工関係		第14章 施工関係		第15章 施工関係		第16章 施工関係		第17章 施工関係		第18章 施工関係		第19章 施工関係		第20章 施工関係		第21章 施工関係		第22章 施工関係		第23章 施工関係		第24章 施工関係		第25章 施工関係		第26章 施工関係		第27章 施工関係		第28章 施工関係		第29章 施工関係		第30章 施工関係		第31章 施工関係		第32章 施工関係		第33章 施工関係		第34章 施工関係		第35章 施工関係		第36章 施工関係		第37章 施工関係		第38章 施工関係		第39章 施工関係		第40章 施工関係		第41章 施工関係		第42章 施工関係		第43章 施工関係		第44章 施工関係		第45章 施工関係		第46章 施工関係		第47章 施工関係		第48章 施工関係		第49章 施工関係		第50章 施工関係		第51章 施工関係		第52章 施工関係		第53章 施工関係		第54章 施工関係		第55章 施工関係		第56章 施工関係		第57章 施工関係		第58章 施工関係		第59章 施工関係		第60章 施工関係		第61章 施工関係		第62章 施工関係		第63章 施工関係		第64章 施工関係		第65章 施工関係		第66章 施工関係		第67章 施工関係		第68章 施工関係		第69章 施工関係		第70章 施工関係		第71章 施工関係		第72章 施工関係		第73章 施工関係		第74章 施工関係		第75章 施工関係		第76章 施工関係		第77章 施工関係		第78章 施工関係		第79章 施工関係		第80章 施工関係		第81章 施工関係		第82章 施工関係		第83章 施工関係		第84章 施工関係		第85章 施工関係		第86章 施工関係		第87章 施工関係		第88章 施工関係		第89章 施工関係		第90章 施工関係		第91章 施工関係		第92章 施工関係		第93章 施工関係		第94章 施工関係		第95章 施工関係		第96章 施工関係		第97章 施工関係		第98章 施工関係		第99章 施工関係		第100章 施工関係		第101章 施工関係		第102章 施工関係		第103章 施工関係		第104章 施工関係		第105章 施工関係		第106章 施工関係		第107章 施工関係		第108章 施工関係		第109章 施工関係		第110章 施工関係		第111章 施工関係		第112章 施工関係		第113章 施工関係		第114章 施工関係		第115章 施工関係		第116章 施工関係		第117章 施工関係		第118章 施工関係		第119章 施工関係		第120章 施工関係		第121章 施工関係		第122章 施工関係		第123章 施工関係		第124章 施工関係		第125章 施工関係		第126章 施工関係		第127章 施工関係		第128章 施工関係		第129章 施工関係		第130章 施工関係		第131章 施工関係		第132章 施工関係		第133章 施工関係		第134章 施工関係		第135章
------------	--	----------	--	----------	--	----------	--	----------	--	----------	--	----------	--	----------	--	----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	-------

第2章 仮設工事		3 場所打ちコンクリート杭地業	形状 径 長さ 掘削工法 ・アースドリル工法 ・安定液使用 ・無水掘削 ・リバース工法 ・オールケーシング工法 ・場所打ち管コンクリート杭工法及び掘削杭工法 ・深礎工法 適用範囲 安全対策	⑥打継目地 ⑦誘発目地 8 その他	特記を除き、巾25×深さ20とし、鉄筋のかぶり厚さは目地底から算定して確保する。 a 耐震壁以外で以下に該当する壁部分には、ひび割れ防止のために誘発目地を設ける。目地の配置要領は設計図及び日本建築学会「鉄筋コンクリート造のひび割れ対策（設計・施工）指針・解説」による。 ※原則として壁一枚の面積が25㎡以上、及び辺長比（壁の長さ／壁の高さ）が1.5以上の壁※10m以上連続するコンクリート手摺・庇等 b 誘発目地は3m以内ごとに設け、特記を除き、屋外側の目地は 第9章 防水工事 9 によりシーリングを行う。 コンクリートはつり仕上げの場合は、コンクリート骨材に石灰石を使用してはならない。	5 ALC・押出成形セメント板の耐圧・耐震性能基準	（8.2.2） a 変形に対する性能 1）面内性能（追従性） ① パネルおよび取付け金物は、下記の層間変位量に対して右欄の程度を超えない。 <table><tr><th>層間変位量</th><th>程度</th><th>備考</th></tr><tr><td>階高の1／300かつ12mm以内</td><td>何ら損傷なく、雨仕舞いを含め機能性が確保されている（無損傷）。</td><td></td></tr><tr><td>階高の1／200かつ25mm以内</td><td>パネル、取付け金物に損傷はないが、シーリングの補修が必要な程度の損傷にとどめる。</td><td></td></tr></table> ② 建物本体の最大層間変位角（ $\cdot 1/100 \cdot 1/125 \cdot 1/150 \cdot /$ ）による変形に対しては、パネルの破壊、脱落が発生させない。 2）面外性能 ① パネルの最大たわみは、支点間距離の1／100以下、かつ20mm以内とし、有害な亀裂の発生及びたわみの残留等がない。 ただし、下記の条件による。 ・地震力：震度 水平方向 1.0 ・設計用風圧力（建築基準法） ② 建物本体の変形に追従するパネルの面外変形に対しては、1）面内性能 ① の階高を支点間距離と読み替えて各層間変位角に対して、程度欄の内容を超えない。 b 強度に対する性能 パネルおよび取付け金物は、風圧力・地震力等による応力に対して、許容値以下とする。 ただし、地震力は下記による。 震度 水平方向（Kh） ※ 1.0 垂直方向（Kv） ※ 1.0 ・ 0.5	層間変位量	程度	備考	階高の1／300かつ12mm以内	何ら損傷なく、雨仕舞いを含め機能性が確保されている（無損傷）。		階高の1／200かつ25mm以内	パネル、取付け金物に損傷はないが、シーリングの補修が必要な程度の損傷にとどめる。																																																																																																										
層間変位量	程度	備考																																																																																																																							
階高の1／300かつ12mm以内	何ら損傷なく、雨仕舞いを含め機能性が確保されている（無損傷）。																																																																																																																								
階高の1／200かつ25mm以内	パネル、取付け金物に損傷はないが、シーリングの補修が必要な程度の損傷にとどめる。																																																																																																																								
① 敷地の状況確認 （2.2.1） 工事の着手に先立ち下記事項の確認を行い、その結果設計図書に定められた条件を満足させることが不可能になった場合には、すみやかに監理者に申し出て、その措置について協議する。 1）敷地境界と建築効等の位置 2）敷地および道路の高低と建築効等のレベル設定 3）その他の関連事項	② 仮設計画書 工事の着手に先立ち、以下の事項を含む仮設計画書を作成して監理者に提出する。 ○ 敷地状況図 ○ 周辺状況図、近隣関係要図 ○ 看板・仮設建築物の概要・配置計画 ○ 搬出入路計画 ○ 仮設荷揚計画 ○ 養生材処理計画 ○ 環境配慮計画 ・その他 ○ 敷地・道路状況図・写真 ○ 仮囲い ○ 足場・機橋・防災設備計画 ○ 工事用機橋器具概要・配置計画 ○ 仮設動力・ガス・用水計画 ○ 警備・保安・安全計画 ○ 近隣対策計画（工事説明・公害対策等）	4 場所打ち鉄筋コンクリート連続壁地業 適用範囲 使用目的 工法 適用範囲	材料 ※再生クラッシュラン ※切込み砂利および切込み砕石 ※60mm 厚さ ※60mm 施工箇所 ※建物内の土間スラブおよび土間コンクリート下（ピット下を除く） 施工工法 ※ポリエチレンフィルム t=0.15mm ・載荷試験 ・地盤調査 ・浅層混合処理工法 ・深層混合処理工法	①施工管理技術者 ②耐火被覆	※適用する ・適用しない （7.1.4） （7.9.2） 建築基準法施行令第107条の規定による要求性能を有するものとする。 <table><tr><th>種別</th><th>材料・工法</th><th>部位</th></tr><tr><td>・ラス張りモルタル塗</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・乾式吹付ロックワール</td><td>—</td><td>柱・梁</td></tr><tr><td>・半乾式吹付ロックワール</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・湿式吹付ロックワール</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・セラミック系耐火材吹付</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・セラミック系耐火材コテ押え</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・耐火板張</td><td>・はい酸カルシウム板</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・耐火塗料</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>—</td><td></td></tr></table> （7.12.3）（14.2.3）（表14.2.2）（18.2.4）（表18.2.3） 適用範囲 ※屋外露出鉄骨部材 ・露出鉄骨部材の一部：○外階段 ○鉄骨庇 ○広告塔 ○外部手摺 ・	種別	材料・工法	部位	・ラス張りモルタル塗	—		・乾式吹付ロックワール	—	柱・梁	・半乾式吹付ロックワール	—		・湿式吹付ロックワール	—		・セラミック系耐火材吹付	—		・セラミック系耐火材コテ押え	—		・	—		・	—		・耐火板張	・はい酸カルシウム板		・	—		・耐火塗料	—		・	—		①アスファルト防水 （表9.2.5～表9.2.8） アスファルト防水の仕様は以下による。 <table><tr><th>種別</th><th>共通仕様書</th><th>製品名</th><th>保護層（仕上材）</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>屋外防水</td><td>密着 ・A-1 ・A-2 断熱 ・A1-1 ・A1-2 絶縁 ・B-1 ・B-2 断熱 ・B1-1 ・B1-2 絶縁 ・D-1 ・D-2</td><td>・PCM-335 ・PCM-330 ・PCM-335R ・PCM-330R ・PX-335 ・PX-330 ○PX-335R ○SX-330R ・SX-320 ・SX-315</td><td>・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート</td><td></td></tr><tr><td>露出防水</td><td>断熱 ・D-1 ・D-2</td><td>○SX-320G ・SX-315G</td><td></td><td>2階屋上</td></tr><tr><td>屋保護内防水</td><td>密着 ・B-1 ・B-2</td><td>・コンクリート ・コンクリート</td><td></td><td></td></tr></table> 製品名は共通仕様書の工法に対応した商品名を参考にして示しているが、この場合はその製品またはそれと同等以上の製品を選定することができる。材料・工程などは選定した製造会社の仕様によるものとする。 アスファルトの種類 ※3種（一般地盤） 押え金物 ※アルミニウム製 断熱材（保護防水） 材質 ※押出法ポリスチレンフォーム 保護板 3種 b 断熱材（露出防水） 材質 ※硬質ウレタンフォーム 保護板 2種 2または3号 絶縁用シート ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上（保護防水） 断気装置（露出防水の場合） ※設置（材質：メーカー仕様 数量：80㎡/ヶ所 程度） 伸縮調整 目地材（※付着層タイプ・ファンカータイプ） 目地巾（mm） 防水立上り部の保護材 （9.2.2（b）） （9.2.2（f）） （9.2.2（h）） （9.2.2（i）） （9.2.3（5）） （9.2.2（j）） （9.2.2（m）） （9.1.2）（9.1.3）（9.3.2）（表9.3.1）	種別	共通仕様書	製品名	保護層（仕上材）	施工箇所	屋外防水	密着 ・A-1 ・A-2 断熱 ・A1-1 ・A1-2 絶縁 ・B-1 ・B-2 断熱 ・B1-1 ・B1-2 絶縁 ・D-1 ・D-2	・PCM-335 ・PCM-330 ・PCM-335R ・PCM-330R ・PX-335 ・PX-330 ○PX-335R ○SX-330R ・SX-320 ・SX-315	・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート		露出防水	断熱 ・D-1 ・D-2	○SX-320G ・SX-315G		2階屋上	屋保護内防水	密着 ・B-1 ・B-2	・コンクリート ・コンクリート																																																										
種別	材料・工法	部位																																																																																																																							
・ラス張りモルタル塗	—																																																																																																																								
・乾式吹付ロックワール	—	柱・梁																																																																																																																							
・半乾式吹付ロックワール	—																																																																																																																								
・湿式吹付ロックワール	—																																																																																																																								
・セラミック系耐火材吹付	—																																																																																																																								
・セラミック系耐火材コテ押え	—																																																																																																																								
・	—																																																																																																																								
・	—																																																																																																																								
・耐火板張	・はい酸カルシウム板																																																																																																																								
・	—																																																																																																																								
・耐火塗料	—																																																																																																																								
・	—																																																																																																																								
種別	共通仕様書	製品名	保護層（仕上材）	施工箇所																																																																																																																					
屋外防水	密着 ・A-1 ・A-2 断熱 ・A1-1 ・A1-2 絶縁 ・B-1 ・B-2 断熱 ・B1-1 ・B1-2 絶縁 ・D-1 ・D-2	・PCM-335 ・PCM-330 ・PCM-335R ・PCM-330R ・PX-335 ・PX-330 ○PX-335R ○SX-330R ・SX-320 ・SX-315	・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート																																																																																																																						
露出防水	断熱 ・D-1 ・D-2	○SX-320G ・SX-315G		2階屋上																																																																																																																					
屋保護内防水	密着 ・B-1 ・B-2	・コンクリート ・コンクリート																																																																																																																							
③仮囲い （2.2.4） 工事現場の敷地周囲の仮囲いは、下記による。 ※一部鋼板製SOP仕上げ 高さ3m以上	④監理者事務所 a 監理者事務所の規模 （表2.3.1） ・1号（10㎡程度） ・4号（65㎡程度） ○2号（20㎡程度） ・5号（100㎡程度） ○3号（35㎡程度） ○上記規模の他に会議室（施工者と供用で可） ・上記規模の他に休憩室、更衣室 ※上記およびその設備、備品に要する費用は、維持・運用費を含め工事費に含む。 b 監理事務所の設備、備品等 （表2.3.2） 1）以下を備える。ただし、請負者と供用する場合は監理者の承認を受ける。 ○電話 ○見本棚 ○複写器 ○ゴム長靴・安全靴 ○ホワイトボード ○冷暖房設備 ○パソコンはワード・エクセル・オートキャドおよびメールのソフトを備え適切な利用ができるものとする。 2）上記以外（ex.応接セット、洗面設備、冷暖房、給茶設備、時計計、温度湿度計等）は、監理者と協議して必要な場合は備える。 3）安全帽、表示看板の仕様（ロゴマーク、タイプ等）は、監理者の指示による。 設計事務所による工事監理であることを示すサインを設置する。看板（サイン）の仕様は監理者の指示による。	5 置換コンクリート地業 ⑥砂利地業 ⑦地コンクリート地業 ⑧床下防湿層 9 試験 10 地盤改良	①配筋検査 （5.1.3） 請負者は原則として金銭配筋検査を行い、記録を作成する。監理者が指示した場合には、記録を提出して確認を受ける。 配筋検査項目 1）鉄筋の本数・鉄筋間隔 2）加工形状 3）埋立精度（鉄筋の位置・かぶり・定着長さなど） 4）継手工事業者の仕様による。 5）その他 監理者の立会い 1）検査の結果、不合格となった配筋は修正して記録を監理者に提出する。 2）監理者は配筋状態を確認するため、適時に抽出検査を行う。 （5.2.3） 材料検査 1）請負者は、工事現場に搬入した材料について検査を行い、検査記録を監理者に提出して確認を受ける。 2）JIS規格品については、規格証明書または信頼できる資料との照合を行う。 材料試験 鉄筋は下表により試験を行う。ただし、監理者の承認がある場合は、規格証明書または信頼できる資料の提出により、これに代えることができる。 <table><tr><th>試験項目</th><th>試験方法</th><th>試験回数</th><th>検査</th></tr><tr><td>降伏点 引張り強さ 伸び</td><td>JIS Z 2241 （金属材料引張試験方法）</td><td>径およびチャージの異なることに、重量50t（20t）以下は1回50t（20t）ごと、またその試験につき1回とする。 （ ）内は溶接金鋼鉄筋格子的場合を示す。</td><td>1面の試験片の数は3個とする。 ただし、試験結果により監理者の承認を得て試験回数を減らすことができる。</td></tr><tr><td>溶接金鋼鉄筋格子</td><td>JIS G 3351 （溶接金鋼）</td><td></td><td></td></tr></table>	試験項目	試験方法	試験回数	検査	降伏点 引張り強さ 伸び	JIS Z 2241 （金属材料引張試験方法）	径およびチャージの異なることに、重量50t（20t）以下は1回50t（20t）ごと、またその試験につき1回とする。 （ ）内は溶接金鋼鉄筋格子的場合を示す。	1面の試験片の数は3個とする。 ただし、試験結果により監理者の承認を得て試験回数を減らすことができる。	溶接金鋼鉄筋格子	JIS G 3351 （溶接金鋼）			③溶融亜鉛めっき （7.12.3）（14.2.3）（表14.2.2）（18.2.4）（表18.2.3） 亜鉛めっき鋼面の裏地こしらえ ・A種 ・B種 ※C種 ・亜鉛めっき面錆止め塗料 （表18.3.2） ※A種 JIS K 5629：鉛酸カルシウム錆止めペイント（屋外、屋内に使用） ・B種 JASS 18 M-109：変性エポキシ樹脂プライマー（屋外、屋内に使用） 付着量 型鋼および鋼板鋼の亜鉛めっきは、最小板圧に対するめっき付着量とする。 <table><tr><th>種別</th><th>表面処理方法</th><th>規格番号</th><th>規格名称</th><th>めっきの種類</th><th>記号</th><th>最小板圧（mm）</th></tr><tr><td>※A種</td><td>溶融亜鉛めっき</td><td>JIS H 8641</td><td>溶融亜鉛めっき</td><td>2種</td><td>HDZ55</td><td>4.5以上</td></tr><tr><td>・B種</td><td>溶融亜鉛めっき</td><td></td><td></td><td></td><td>HDZ45</td><td>3.2以上</td></tr><tr><td>・C種</td><td>溶融亜鉛めっき</td><td></td><td></td><td></td><td>HDZ32</td><td>1.6以上</td></tr></table>	種別	表面処理方法	規格番号	規格名称	めっきの種類	記号	最小板圧（mm）	※A種	溶融亜鉛めっき	JIS H 8641	溶融亜鉛めっき	2種	HDZ55	4.5以上	・B種	溶融亜鉛めっき				HDZ45	3.2以上	・C種	溶融亜鉛めっき				HDZ32	1.6以上	②耐震スリット （6.9.3） a 支柱の最小存置期間は、「共仕」表（6.9.3）による。ただし、圧縮強度により定める場合は同表による他、コンクリートの材齢を原則として21日以上とする。 b 当該支柱の上下端にコンクリートを打設する場合は、その打設後3日以上当該支柱を存置する。 下記の性能を満足する専用スリット材（メーカー仕様）による耐震スリットの施工計画書（要領書）を作成し、監理者の承認を受ける。 <table><tr><th>使用箇所</th><th>耐火性能</th><th>遮音性能</th><th>防水性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>外部垂直・水平スリット</td><td>耐火 時間 有（D 40）</td><td>有</td><td>有</td><td></td></tr><tr><td>内部垂直・水平スリット</td><td>耐火 時間 有（D ）</td><td>有</td><td>※無</td><td></td></tr></table> スリットは全貫通タイプとし、防水性能が有の場合、スリット外側のコンクリート目地は、特記仕様書 第9章によるシーリングを行う。この場合、水平スリットは専用の段差部材によりコンクリートを打継ぎ、コンクリート目地の水平レベルを低くする。 ・指定した遮音性能を確保しているかどうか遮音試験を行い、試験記録を提出する。	使用箇所	耐火性能	遮音性能	防水性能	備考	外部垂直・水平スリット	耐火 時間 有（D 40）	有	有		内部垂直・水平スリット	耐火 時間 有（D ）	有	※無																																																														
試験項目	試験方法	試験回数	検査																																																																																																																						
降伏点 引張り強さ 伸び	JIS Z 2241 （金属材料引張試験方法）	径およびチャージの異なることに、重量50t（20t）以下は1回50t（20t）ごと、またその試験につき1回とする。 （ ）内は溶接金鋼鉄筋格子的場合を示す。	1面の試験片の数は3個とする。 ただし、試験結果により監理者の承認を得て試験回数を減らすことができる。																																																																																																																						
溶接金鋼鉄筋格子	JIS G 3351 （溶接金鋼）																																																																																																																								
種別	表面処理方法	規格番号	規格名称	めっきの種類	記号	最小板圧（mm）																																																																																																																			
※A種	溶融亜鉛めっき	JIS H 8641	溶融亜鉛めっき	2種	HDZ55	4.5以上																																																																																																																			
・B種	溶融亜鉛めっき				HDZ45	3.2以上																																																																																																																			
・C種	溶融亜鉛めっき				HDZ32	1.6以上																																																																																																																			
使用箇所	耐火性能	遮音性能	防水性能	備考																																																																																																																					
外部垂直・水平スリット	耐火 時間 有（D 40）	有	有																																																																																																																						
内部垂直・水平スリット	耐火 時間 有（D ）	有	※無																																																																																																																						
⑤工事看板 （2.3.1） 設計事務所による工事監理であることを示すサインを設置する。看板（サイン）の仕様は監理者の指示による。	⑥工事用水 （2.3.2） 構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※有償・無償）	⑦工事用電力 （2.3.2） 構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※有償・無償）	第5章 鉄筋工事 ①配筋検査 （5.1.3） 請負者は原則として金銭配筋検査を行い、記録を作成する。監理者が指示した場合には、記録を提出して確認を受ける。 配筋検査項目 1）鉄筋の本数・鉄筋間隔 2）加工形状 3）埋立精度（鉄筋の位置・かぶり・定着長さなど） 4）継手工事業者の仕様による。 5）その他 監理者の立会い 1）検査の結果、不合格となった配筋は修正して記録を監理者に提出する。 2）監理者は配筋状態を確認するため、適時に抽出検査を行う。 （5.2.3） 材料検査 1）請負者は、工事現場に搬入した材料について検査を行い、検査記録を監理者に提出して確認を受ける。 2）JIS規格品については、規格証明書または信頼できる資料との照合を行う。 材料試験 鉄筋は下表により試験を行う。ただし、監理者の承認がある場合は、規格証明書または信頼できる資料の提出により、これに代えることができる。 <table><tr><th>試験項目</th><th>試験方法</th><th>試験回数</th><th>検査</th></tr><tr><td>降伏点 引張り強さ 伸び</td><td>JIS Z 2241 （金属材料引張試験方法）</td><td>径およびチャージの異なることに、重量50t（20t）以下は1回50t（20t）ごと、またその試験につき1回とする。 （ ）内は溶接金鋼鉄筋格子的場合を示す。</td><td>1面の試験片の数は3個とする。 ただし、試験結果により監理者の承認を得て試験回数を減らすことができる。</td></tr><tr><td>溶接金鋼鉄筋格子</td><td>JIS G 3351 （溶接金鋼）</td><td></td><td></td></tr></table>	試験項目	試験方法	試験回数	検査	降伏点 引張り強さ 伸び	JIS Z 2241 （金属材料引張試験方法）	径およびチャージの異なることに、重量50t（20t）以下は1回50t（20t）ごと、またその試験につき1回とする。 （ ）内は溶接金鋼鉄筋格子的場合を示す。	1面の試験片の数は3個とする。 ただし、試験結果により監理者の承認を得て試験回数を減らすことができる。	溶接金鋼鉄筋格子	JIS G 3351 （溶接金鋼）			第6章 コンクリート工事 ①埋打ち厚さ （6.2.5） （表6.2.3） ※合板せき板を用いる場合 ・A種（化粧打放しまたは塗装仕上程度を施す） ・B種（仕上げ塗材を施す） ・C種（打放しのまま） ②コンクリート打放し仕上の種別 （6.2.5） （表6.2.3） ※合板せき板を用いる場合 ・A種（化粧打放しまたは塗装仕上程度を施す） ・B種（仕上げ塗材を施す） ・C種（打放しのまま） ③型枠（せき板）の材料 （6.9.3） ※合板（※12mm・15mm） ・鋼製型枠パネル ・塗装合板の有無 ・タイル張りMCR工法 ・有 ・無 ・せき板面の気泡確実材張り ・難燃性ポリエチレン気泡シート ④型枠の存置期間 （6.9.5） a 支柱の最小存置期間は、「共仕」表（6.9.3）による。ただし、圧縮強度により定める場合は同表による他、コンクリートの材齢を原則として21日以上とする。 b 当該支柱の上下端にコンクリートを打設する場合は、その打設後3日以上当該支柱を存置する。 下記の性能を満足する専用スリット材（メーカー仕様）による耐震スリットの施工計画書（要領書）を作成し、監理者の承認を受ける。 <table><tr><th>使用箇所</th><th>耐火性能</th><th>遮音性能</th><th>防水性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>外部垂直・水平スリット</td><td>耐火 時間 有（D 40）</td><td>有</td><td>有</td><td></td></tr><tr><td>内部垂直・水平スリット</td><td>耐火 時間 有（D ）</td><td>有</td><td>※無</td><td></td></tr></table> スリットは全貫通タイプとし、防水性能が有の場合、スリット外側のコンクリート目地は、特記仕様書 第9章によるシーリングを行う。この場合、水平スリットは専用の段差部材によりコンクリートを打継ぎ、コンクリート目地の水平レベルを低くする。 ・指定した遮音性能を確保しているかどうか遮音試験を行い、試験記録を提出する。	使用箇所	耐火性能	遮音性能	防水性能	備考	外部垂直・水平スリット	耐火 時間 有（D 40）	有	有		内部垂直・水平スリット	耐火 時間 有（D ）	有	※無		第7章 鉄骨工事 ①施工管理技術者 ②耐火被覆 （7.1.4） （7.9.2） 建築基準法施行令第107条の規定による要求性能を有するものとする。 <table><tr><th>種別</th><th>材料・工法</th><th>部位</th></tr><tr><td>・ラス張りモルタル塗</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・乾式吹付ロックワール</td><td>—</td><td>柱・梁</td></tr><tr><td>・半乾式吹付ロックワール</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・湿式吹付ロックワール</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・セラミック系耐火材吹付</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・セラミック系耐火材コテ押え</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・耐火板張</td><td>・はい酸カルシウム板</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・耐火塗料</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>—</td><td></td></tr></table> （7.12.3）（14.2.3）（表14.2.2）（18.2.4）（表18.2.3） 適用範囲 ※屋外露出鉄骨部材 ・露出鉄骨部材の一部：○外階段 ○鉄骨庇 ○広告塔 ○外部手摺 ・	種別	材料・工法	部位	・ラス張りモルタル塗	—		・乾式吹付ロックワール	—	柱・梁	・半乾式吹付ロックワール	—		・湿式吹付ロックワール	—		・セラミック系耐火材吹付	—		・セラミック系耐火材コテ押え	—		・	—		・	—		・耐火板張	・はい酸カルシウム板		・	—		・耐火塗料	—		・	—		第8章 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 1 補強コンクリートブロック造 （8.2.2） ※16（C種）普通ブロック 厚さ（mm） ・140 ・150 ・190 ・16（C種）防水ブロック 厚さ（mm） ・140 ・150 ・190 「共仕」表8.3.1および下表による <table><tr><th>種別</th><th>箇所</th><th>厚さ（mm）</th></tr><tr><td>○08（A種）普通ブロック</td><td>設備配管スペース（便所ライニング）</td><td>100 ○150</td></tr><tr><td>・16（B種）普通ブロック</td><td>雨水切壁、地下二層壁、溝</td><td>100 ○150</td></tr><tr><td>・16（C種）普通ブロック</td><td>外壁</td><td>150</td></tr><tr><td>・16（C種）防水ブロック</td><td>外壁の化粧構</td><td>150</td></tr></table>	種別	箇所	厚さ（mm）	○08（A種）普通ブロック	設備配管スペース（便所ライニング）	100 ○150	・16（B種）普通ブロック	雨水切壁、地下二層壁、溝	100 ○150	・16（C種）普通ブロック	外壁	150	・16（C種）防水ブロック	外壁の化粧構	150	第9章 防水工事 ①アスファルト防水 （表9.2.5～表9.2.8） アスファルト防水の仕様は以下による。 <table><tr><th>種別</th><th>共通仕様書</th><th>製品名</th><th>保護層（仕上材）</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>屋外防水</td><td>密着 ・A-1 ・A-2 断熱 ・A1-1 ・A1-2 絶縁 ・B-1 ・B-2 断熱 ・B1-1 ・B1-2 絶縁 ・D-1 ・D-2</td><td>・PCM-335 ・PCM-330 ・PCM-335R ・PCM-330R ・PX-335 ・PX-330 ○PX-335R ○SX-330R ・SX-320 ・SX-315</td><td>・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート</td><td></td></tr><tr><td>露出防水</td><td>断熱 ・D-1 ・D-2</td><td>○SX-320G ・SX-315G</td><td></td><td>2階屋上</td></tr><tr><td>屋保護内防水</td><td>密着 ・B-1 ・B-2</td><td>・コンクリート ・コンクリート</td><td></td><td></td></tr></table> 製品名は共通仕様書の工法に対応した商品名を参考にして示しているが、この場合はその製品またはそれと同等以上の製品を選定することができる。材料・工程などは選定した製造会社の仕様によるものとする。 アスファルトの種類 ※3種（一般地盤） 押え金物 ※アルミニウム製 断熱材（保護防水） 材質 ※押出法ポリスチレンフォーム 保護板 3種 b 断熱材（露出防水） 材質 ※硬質ウレタンフォーム 保護板 2種 2または3号 絶縁用シート ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上（保護防水） 断気装置（露出防水の場合） ※設置（材質：メーカー仕様 数量：80㎡/ヶ所 程度） 伸縮調整 目地材（※付着層タイプ・ファンカータイプ） 目地巾（mm） 防水立上り部の保護材 （9.2.2（b）） （9.2.2（f）） （9.2.2（h）） （9.2.2（i）） （9.2.3（5）） （9.2.2（j）） （9.2.2（m）） （9.1.2）（9.1.3）（9.3.2）（表9.3.1）	種別	共通仕様書	製品名	保護層（仕上材）	施工箇所	屋外防水	密着 ・A-1 ・A-2 断熱 ・A1-1 ・A1-2 絶縁 ・B-1 ・B-2 断熱 ・B1-1 ・B1-2 絶縁 ・D-1 ・D-2	・PCM-335 ・PCM-330 ・PCM-335R ・PCM-330R ・PX-335 ・PX-330 ○PX-335R ○SX-330R ・SX-320 ・SX-315	・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート		露出防水	断熱 ・D-1 ・D-2	○SX-320G ・SX-315G		2階屋上	屋保護内防水	密着 ・B-1 ・B-2	・コンクリート ・コンクリート															
試験項目	試験方法	試験回数	検査																																																																																																																						
降伏点 引張り強さ 伸び	JIS Z 2241 （金属材料引張試験方法）	径およびチャージの異なることに、重量50t（20t）以下は1回50t（20t）ごと、またその試験につき1回とする。 （ ）内は溶接金鋼鉄筋格子的場合を示す。	1面の試験片の数は3個とする。 ただし、試験結果により監理者の承認を得て試験回数を減らすことができる。																																																																																																																						
溶接金鋼鉄筋格子	JIS G 3351 （溶接金鋼）																																																																																																																								
使用箇所	耐火性能	遮音性能	防水性能	備考																																																																																																																					
外部垂直・水平スリット	耐火 時間 有（D 40）	有	有																																																																																																																						
内部垂直・水平スリット	耐火 時間 有（D ）	有	※無																																																																																																																						
種別	材料・工法	部位																																																																																																																							
・ラス張りモルタル塗	—																																																																																																																								
・乾式吹付ロックワール	—	柱・梁																																																																																																																							
・半乾式吹付ロックワール	—																																																																																																																								
・湿式吹付ロックワール	—																																																																																																																								
・セラミック系耐火材吹付	—																																																																																																																								
・セラミック系耐火材コテ押え	—																																																																																																																								
・	—																																																																																																																								
・	—																																																																																																																								
・耐火板張	・はい酸カルシウム板																																																																																																																								
・	—																																																																																																																								
・耐火塗料	—																																																																																																																								
・	—																																																																																																																								
種別	箇所	厚さ（mm）																																																																																																																							
○08（A種）普通ブロック	設備配管スペース（便所ライニング）	100 ○150																																																																																																																							
・16（B種）普通ブロック	雨水切壁、地下二層壁、溝	100 ○150																																																																																																																							
・16（C種）普通ブロック	外壁	150																																																																																																																							
・16（C種）防水ブロック	外壁の化粧構	150																																																																																																																							
種別	共通仕様書	製品名	保護層（仕上材）	施工箇所																																																																																																																					
屋外防水	密着 ・A-1 ・A-2 断熱 ・A1-1 ・A1-2 絶縁 ・B-1 ・B-2 断熱 ・B1-1 ・B1-2 絶縁 ・D-1 ・D-2	・PCM-335 ・PCM-330 ・PCM-335R ・PCM-330R ・PX-335 ・PX-330 ○PX-335R ○SX-330R ・SX-320 ・SX-315	・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート																																																																																																																						
露出防水	断熱 ・D-1 ・D-2	○SX-320G ・SX-315G		2階屋上																																																																																																																					
屋保護内防水	密着 ・B-1 ・B-2	・コンクリート ・コンクリート																																																																																																																							
⑥敷地の状況確認 （2.2.1） 工事の着手に先立ち下記事項の確認を行い、その結果設計図書に定められた条件を満足させることが不可能になった場合には、すみやかに監理者に申し出て、その措置について協議する。 1）敷地境界と建築効等の位置 2）敷地および道路の高低と建築効等のレベル設定 3）その他の関連事項	⑦仮設計画書 工事の着手に先立ち、以下の事項を含む仮設計画書を作成して監理者に提出する。 ○ 敷地状況図 ○ 周辺状況図、近隣関係要図 ○ 看板・仮設建築物の概要・配置計画 ○ 搬出入路計画 ○ 仮設荷揚計画 ○ 養生材処理計画 ○ 環境配慮計画 ・その他 ○ 敷地・道路状況図・写真 ○ 仮囲い ○ 足場・機橋・防災設備計画 ○ 工事用機橋器具概要・配置計画 ○ 仮設動力・ガス・用水計画 ○ 警備・保安・安全計画 ○ 近隣対策計画（工事説明・公害対策等）	⑧場所打ち鉄筋コンクリート連続壁地業 適用範囲 使用目的 工法 適用範囲	⑨材料 ※再生クラッシュラン ※切込み砂利および切込み砕石 ※60mm 厚さ ※60mm 施工箇所 ※建物内の土間スラブおよび土間コンクリート下（ピット下を除く） 施工工法 ※ポリエチレンフィルム t=0.15mm ・載荷試験 ・地盤調査 ・浅層混合処理工法 ・深層混合処理工法	⑩施工管理技術者 ⑪耐火被覆 （7.1.4） （7.9.2） 建築基準法施行令第107条の規定による要求性能を有するものとする。 <table><tr><th>種別</th><th>材料・工法</th><th>部位</th></tr><tr><td>・ラス張りモルタル塗</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・乾式吹付ロックワール</td><td>—</td><td>柱・梁</td></tr><tr><td>・半乾式吹付ロックワール</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・湿式吹付ロックワール</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・セラミック系耐火材吹付</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・セラミック系耐火材コテ押え</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・耐火板張</td><td>・はい酸カルシウム板</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・耐火塗料</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>—</td><td></td></tr></table> （7.12.3）（14.2.3）（表14.2.2）（18.2.4）（表18.2.3） 適用範囲 ※屋外露出鉄骨部材 ・露出鉄骨部材の一部：○外階段 ○鉄骨庇 ○広告塔 ○外部手摺 ・	種別	材料・工法	部位	・ラス張りモルタル塗	—		・乾式吹付ロックワール	—	柱・梁	・半乾式吹付ロックワール	—		・湿式吹付ロックワール	—		・セラミック系耐火材吹付	—		・セラミック系耐火材コテ押え	—		・	—		・	—		・耐火板張	・はい酸カルシウム板		・	—		・耐火塗料	—		・	—		⑫アスファルト防水 （表9.2.5～表9.2.8） アスファルト防水の仕様は以下による。 <table><tr><th>種別</th><th>共通仕様書</th><th>製品名</th><th>保護層（仕上材）</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>屋外防水</td><td>密着 ・A-1 ・A-2 断熱 ・A1-1 ・A1-2 絶縁 ・B-1 ・B-2 断熱 ・B1-1 ・B1-2 絶縁 ・D-1 ・D-2</td><td>・PCM-335 ・PCM-330 ・PCM-335R ・PCM-330R ・PX-335 ・PX-330 ○PX-335R ○SX-330R ・SX-320 ・SX-315</td><td>・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート</td><td></td></tr><tr><td>露出防水</td><td>断熱 ・D-1 ・D-2</td><td>○SX-320G ・SX-315G</td><td></td><td>2階屋上</td></tr><tr><td>屋保護内防水</td><td>密着 ・B-1 ・B-2</td><td>・コンクリート ・コンクリート</td><td></td><td></td></tr></table> 製品名は共通仕様書の工法に対応した商品名を参考にして示しているが、この場合はその製品またはそれと同等以上の製品を選定することができる。材料・工程などは選定した製造会社の仕様によるものとする。 アスファルトの種類 ※3種（一般地盤） 押え金物 ※アルミニウム製 断熱材（保護防水） 材質 ※押出法ポリスチレンフォーム 保護板 3種 b 断熱材（露出防水） 材質 ※硬質ウレタンフォーム 保護板 2種 2または3号 絶縁用シート ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上（保護防水） 断気装置（露出防水の場合） ※設置（材質：メーカー仕様 数量：80㎡/ヶ所 程度） 伸縮調整 目地材（※付着層タイプ・ファンカータイプ） 目地巾（mm） 防水立上り部の保護材 （9.2.2（b）） （9.2.2（f）） （9.2.2（h）） （9.2.2（i）） （9.2.3（5）） （9.2.2（j）） （9.2.2（m）） （9.1.2）（9.1.3）（9.3.2）（表9.3.1）	種別	共通仕様書	製品名	保護層（仕上材）	施工箇所	屋外防水	密着 ・A-1 ・A-2 断熱 ・A1-1 ・A1-2 絶縁 ・B-1 ・B-2 断熱 ・B1-1 ・B1-2 絶縁 ・D-1 ・D-2	・PCM-335 ・PCM-330 ・PCM-335R ・PCM-330R ・PX-335 ・PX-330 ○PX-335R ○SX-330R ・SX-320 ・SX-315	・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート		露出防水	断熱 ・D-1 ・D-2	○SX-320G ・SX-315G		2階屋上	屋保護内防水	密着 ・B-1 ・B-2	・コンクリート ・コンクリート																																																											
種別	材料・工法	部位																																																																																																																							
・ラス張りモルタル塗	—																																																																																																																								
・乾式吹付ロックワール	—	柱・梁																																																																																																																							
・半乾式吹付ロックワール	—																																																																																																																								
・湿式吹付ロックワール	—																																																																																																																								
・セラミック系耐火材吹付	—																																																																																																																								
・セラミック系耐火材コテ押え	—																																																																																																																								
・	—																																																																																																																								
・	—																																																																																																																								
・耐火板張	・はい酸カルシウム板																																																																																																																								
・	—																																																																																																																								
・耐火塗料	—																																																																																																																								
・	—																																																																																																																								
種別	共通仕様書	製品名	保護層（仕上材）	施工箇所																																																																																																																					
屋外防水	密着 ・A-1 ・A-2 断熱 ・A1-1 ・A1-2 絶縁 ・B-1 ・B-2 断熱 ・B1-1 ・B1-2 絶縁 ・D-1 ・D-2	・PCM-335 ・PCM-330 ・PCM-335R ・PCM-330R ・PX-335 ・PX-330 ○PX-335R ○SX-330R ・SX-320 ・SX-315	・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート																																																																																																																						
露出防水	断熱 ・D-1 ・D-2	○SX-320G ・SX-315G		2階屋上																																																																																																																					
屋保護内防水	密着 ・B-1 ・B-2	・コンクリート ・コンクリート																																																																																																																							
⑨仮囲い （2.2.4） 工事現場の敷地周囲の仮囲いは、下記による。 ※一部鋼板製SOP仕上げ 高さ3m以上	⑩監理者事務所 a 監理者事務所の規模 （表2.3.1） ・1号（10㎡程度） ・4号（65㎡程度） ○2号（20㎡程度） ・5号（100㎡程度） ○3号（35㎡程度） ○上記規模の他に会議室（施工者と供用で可） ・上記規模の他に休憩室、更衣室 ※上記およびその設備、備品に要する費用は、維持・運用費を含め工事費に含む。 b 監理事務所の設備、備品等 （表2.3.2） 1）以下を備える。ただし、請負者と供用する場合は監理者の承認を受ける。 ○電話 ○見本棚 ○複写器 ○ゴム長靴・安全靴 ○ホワイトボード ○冷暖房設備 ○パソコンはワード・エクセル・オートキャドおよびメールのソフトを備え適切な利用ができるものとする。 2）上記以外（ex.応接セット、洗面設備、冷暖房、給茶設備、時計計、温度湿度計等）は、監理者と協議して必要な場合は備える。 3）安全帽、表示看板の仕様（ロゴマーク、タイプ等）は、監理者の指示による。 設計事務所による工事監理であることを示すサインを設置する。看板（サイン）の仕様は監理者の指示による。	⑪置換コンクリート地業 ⑫砂利地業 ⑬地コンクリート地業 ⑭床下防湿層 11 試験 12 地盤改良	⑬配筋検査 （5.1.3） 請負者は原則として金銭配筋検査を行い、記録を作成する。監理者が指示した場合には、記録を提出して確認を受ける。 配筋検査項目 1）鉄筋の本数・鉄筋間隔 2）加工形状 3）埋立精度（鉄筋の位置・かぶり・定着長さなど） 4）継手工事業者の仕様による。 5）その他 監理者の立会い 1）検査の結果、不合格となった配筋は修正して記録を監理者に提出する。 2）監理者は配筋状態を確認するため、適時に抽出検査を行う。 （5.2.3） 材料検査 1）請負者は、工事現場に搬入した材料について検査を行い、検査記録を監理者に提出して確認を受ける。 2）JIS規格品については、規格証明書または信頼できる資料との照合を行う。 材料試験 鉄筋は下表により試験を行う。ただし、監理者の承認がある場合は、規格証明書または信頼できる資料の提出により、これに代えることができる。 <table><tr><th>試験項目</th><th>試験方法</th><th>試験回数</th><th>検査</th></tr><tr><td>降伏点 引張り強さ 伸び</td><td>JIS Z 2241 （金属材料引張試験方法）</td><td>径およびチャージの異なることに、重量50t（20t）以下は1回50t（20t）ごと、またその試験につき1回とする。 （ ）内は溶接金鋼鉄筋格子的場合を示す。</td><td>1面の試験片の数は3個とする。 ただし、試験結果により監理者の承認を得て試験回数を減らすことができる。</td></tr><tr><td>溶接金鋼鉄筋格子</td><td>JIS G 3351 （溶接金鋼）</td><td></td><td></td></tr></table>	試験項目	試験方法	試験回数	検査	降伏点 引張り強さ 伸び	JIS Z 2241 （金属材料引張試験方法）	径およびチャージの異なることに、重量50t（20t）以下は1回50t（20t）ごと、またその試験につき1回とする。 （ ）内は溶接金鋼鉄筋格子的場合を示す。	1面の試験片の数は3個とする。 ただし、試験結果により監理者の承認を得て試験回数を減らすことができる。	溶接金鋼鉄筋格子	JIS G 3351 （溶接金鋼）			⑬溶融亜鉛めっき （7.12.3）（14.2.3）（表14.2.2）（18.2.4）（表18.2.3） 亜鉛めっき鋼面の裏地こしらえ ・A種 ・B種 ※C種 ・亜鉛めっき面錆止め塗料 （表18.3.2） ※A種 JIS K 5629：鉛酸カルシウム錆止めペイント（屋外、屋内に使用） ・B種 JASS 18 M-109：変性エポキシ樹脂プライマー（屋外、屋内に使用） 付着量 型鋼および鋼板鋼の亜鉛めっきは、最小板圧に対するめっき付着量とする。 <table><tr><th>種別</th><th>表面処理方法</th><th>規格番号</th><th>規格名称</th><th>めっきの種類</th><th>記号</th><th>最小板圧（mm）</th></tr><tr><td>※A種</td><td>溶融亜鉛めっき</td><td>JIS H 8641</td><td>溶融亜鉛めっき</td><td>2種</td><td>HDZ55</td><td>4.5以上</td></tr><tr><td>・B種</td><td>溶融亜鉛めっき</td><td></td><td></td><td></td><td>HDZ45</td><td>3.2以上</td></tr><tr><td>・C種</td><td>溶融亜鉛めっき</td><td></td><td></td><td></td><td>HDZ32</td><td>1.6以上</td></tr></table>	種別	表面処理方法	規格番号	規格名称	めっきの種類	記号	最小板圧（mm）	※A種	溶融亜鉛めっき	JIS H 8641	溶融亜鉛めっき	2種	HDZ55	4.5以上	・B種	溶融亜鉛めっき				HDZ45	3.2以上	・C種	溶融亜鉛めっき				HDZ32	1.6以上	⑬耐震スリット （6.9.3） a 支柱の最小存置期間は、「共仕」表（6.9.3）による。ただし、圧縮強度により定める場合は同表による他、コンクリートの材齢を原則として21日以上とする。 b 当該支柱の上下端にコンクリートを打設する場合は、その打設後3日以上当該支柱を存置する。 下記の性能を満足する専用スリット材（メーカー仕様）による耐震スリットの施工計画書（要領書）を作成し、監理者の承認を受ける。 <table><tr><th>使用箇所</th><th>耐火性能</th><th>遮音性能</th><th>防水性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>外部垂直・水平スリット</td><td>耐火 時間 有（D 40）</td><td>有</td><td>有</td><td></td></tr><tr><td>内部垂直・水平スリット</td><td>耐火 時間 有（D ）</td><td>有</td><td>※無</td><td></td></tr></table> スリットは全貫通タイプとし、防水性能が有の場合、スリット外側のコンクリート目地は、特記仕様書 第9章によるシーリングを行う。この場合、水平スリットは専用の段差部材によりコンクリートを打継ぎ、コンクリート目地の水平レベルを低くする。 ・指定した遮音性能を確保しているかどうか遮音試験を行い、試験記録を提出する。	使用箇所	耐火性能	遮音性能	防水性能	備考	外部垂直・水平スリット	耐火 時間 有（D 40）	有	有		内部垂直・水平スリット	耐火 時間 有（D ）	有	※無		⑬施工管理技術者 ⑭耐火被覆 （7.1.4） （7.9.2） 建築基準法施行令第107条の規定による要求性能を有するものとする。 <table><tr><th>種別</th><th>材料・工法</th><th>部位</th></tr><tr><td>・ラス張りモルタル塗</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・乾式吹付ロックワール</td><td>—</td><td>柱・梁</td></tr><tr><td>・半乾式吹付ロックワール</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・湿式吹付ロックワール</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・セラミック系耐火材吹付</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・セラミック系耐火材コテ押え</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・耐火板張</td><td>・はい酸カルシウム板</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・耐火塗料</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>—</td><td></td></tr></table> （7.12.3）（14.2.3）（表14.2.2）（18.2.4）（表18.2.3） 適用範囲 ※屋外露出鉄骨部材 ・露出鉄骨部材の一部：○外階段 ○鉄骨庇 ○広告塔 ○外部手摺 ・	種別	材料・工法	部位	・ラス張りモルタル塗	—		・乾式吹付ロックワール	—	柱・梁	・半乾式吹付ロックワール	—		・湿式吹付ロックワール	—		・セラミック系耐火材吹付	—		・セラミック系耐火材コテ押え	—		・	—		・	—		・耐火板張	・はい酸カルシウム板		・	—		・耐火塗料	—		・	—		⑬アスファルト防水 （表9.2.5～表9.2.8） アスファルト防水の仕様は以下による。 <table><tr><th>種別</th><th>共通仕様書</th><th>製品名</th><th>保護層（仕上材）</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>屋外防水</td><td>密着 ・A-1 ・A-2 断熱 ・A1-1 ・A1-2 絶縁 ・B-1 ・B-2 断熱 ・B1-1 ・B1-2 絶縁 ・D-1 ・D-2</td><td>・PCM-335 ・PCM-330 ・PCM-335R ・PCM-330R ・PX-335 ・PX-330 ○PX-335R ○SX-330R ・SX-320 ・SX-315</td><td>・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート</td><td></td></tr><tr><td>露出防水</td><td>断熱 ・D-1 ・D-2</td><td>○SX-320G ・SX-315G</td><td></td><td>2階屋上</td></tr><tr><td>屋保護内防水</td><td>密着 ・B-1 ・B-2</td><td>・コンクリート ・コンクリート</td><td></td><td></td></tr></table> 製品名は共通仕様書の工法に対応した商品名を参考にして示しているが、この場合はその製品またはそれと同等以上の製品を選定することができる。材料・工程などは選定した製造会社の仕様によるものとする。 アスファルトの種類 ※3種（一般地盤） 押え金物 ※アルミニウム製 断熱材（保護防水） 材質 ※押出法ポリスチレンフォーム 保護板 3種 b 断熱材（露出防水） 材質 ※硬質ウレタンフォーム 保護板 2種 2または3号 絶縁用シート ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上（保護防水） 断気装置（露出防水の場合） ※設置（材質：メーカー仕様 数量：80㎡/ヶ所 程度） 伸縮調整 目地材（※付着層タイプ・ファンカータイプ） 目地巾（mm） 防水立上り部の保護材 （9.2.2（b）） （9.2.2（f）） （9.2.2（h）） （9.2.2（i）） （9.2.3（5）） （9.2.2（j）） （9.2.2（m）） （9.1.2）（9.1.3）（9.3.2）（表9.3.1）	種別	共通仕様書	製品名	保護層（仕上材）	施工箇所	屋外防水	密着 ・A-1 ・A-2 断熱 ・A1-1 ・A1-2 絶縁 ・B-1 ・B-2 断熱 ・B1-1 ・B1-2 絶縁 ・D-1 ・D-2	・PCM-335 ・PCM-330 ・PCM-335R ・PCM-330R ・PX-335 ・PX-330 ○PX-335R ○SX-330R ・SX-320 ・SX-315	・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート		露出防水	断熱 ・D-1 ・D-2	○SX-320G ・SX-315G		2階屋上	屋保護内防水	密着 ・B-1 ・B-2	・コンクリート ・コンクリート		
試験項目	試験方法	試験回数	検査																																																																																																																						
降伏点 引張り強さ 伸び	JIS Z 2241 （金属材料引張試験方法）	径およびチャージの異なることに、重量50t（20t）以下は1回50t（20t）ごと、またその試験につき1回とする。 （ ）内は溶接金鋼鉄筋格子的場合を示す。	1面の試験片の数は3個とする。 ただし、試験結果により監理者の承認を得て試験回数を減らすことができる。																																																																																																																						
溶接金鋼鉄筋格子	JIS G 3351 （溶接金鋼）																																																																																																																								
種別	表面処理方法	規格番号	規格名称	めっきの種類	記号	最小板圧（mm）																																																																																																																			
※A種	溶融亜鉛めっき	JIS H 8641	溶融亜鉛めっき	2種	HDZ55	4.5以上																																																																																																																			
・B種	溶融亜鉛めっき				HDZ45	3.2以上																																																																																																																			
・C種	溶融亜鉛めっき				HDZ32	1.6以上																																																																																																																			
使用箇所	耐火性能	遮音性能	防水性能	備考																																																																																																																					
外部垂直・水平スリット	耐火 時間 有（D 40）	有	有																																																																																																																						
内部垂直・水平スリット	耐火 時間 有（D ）	有	※無																																																																																																																						
種別	材料・工法	部位																																																																																																																							
・ラス張りモルタル塗	—																																																																																																																								
・乾式吹付ロックワール	—	柱・梁																																																																																																																							
・半乾式吹付ロックワール	—																																																																																																																								
・湿式吹付ロックワール	—																																																																																																																								
・セラミック系耐火材吹付	—																																																																																																																								
・セラミック系耐火材コテ押え	—																																																																																																																								
・	—																																																																																																																								
・	—																																																																																																																								
・耐火板張	・はい酸カルシウム板																																																																																																																								
・	—																																																																																																																								
・耐火塗料	—																																																																																																																								
・	—																																																																																																																								
種別	共通仕様書	製品名	保護層（仕上材）	施工箇所																																																																																																																					
屋外防水	密着 ・A-1 ・A-2 断熱 ・A1-1 ・A1-2 絶縁 ・B-1 ・B-2 断熱 ・B1-1 ・B1-2 絶縁 ・D-1 ・D-2	・PCM-335 ・PCM-330 ・PCM-335R ・PCM-330R ・PX-335 ・PX-330 ○PX-335R ○SX-330R ・SX-320 ・SX-315	・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート ・コンクリート																																																																																																																						
露出防水	断熱 ・D-1 ・D-2	○SX-320G ・SX-315G		2階屋上																																																																																																																					
屋保護内防水	密着 ・B-1 ・B-2	・コンクリート ・コンクリート																																																																																																																							
⑩敷地の状況確認 （2.2.1） 工事の着手に先立ち下記事項の確認を行い、その結果設計図書に定められた条件を満足させることが不可能になった場合には、すみやかに監理者に申し出て、その措置について協議する。 1）敷地境界と建築効等の位置 2）敷地および道路の高低と建築効等のレベル設定 3）その他の関連事項	⑪仮設計画書 工事の着手に先立ち、以下の事項を含む仮設計画書を作成して監理者に提出する。 ○ 敷地状況図 ○ 周辺状況図、近隣関係要図 ○ 看板・仮設建築物の概要・配置計画 ○ 搬出入路計画 ○ 仮設荷揚計画 ○ 養生材処理計画 ○ 環境配慮計画 ・その他 ○ 敷地・道路状況図・写真 ○ 仮囲い ○ 足場・機橋・防災設備計画 ○ 工事用機橋器具概要・配置計画 ○ 仮設動力・ガス・用水計画 																																																																																																																								

⑤ ケイ酸質系塗膜防水 (9.1.2) (9.1.3)
・防水剤はJISによる試験に合格またはJASSの規格に適合したものとし、防水剤製造者の仕様に基づき施工する。
施工箇所 種別 備考
地下ピット
・セメント防水
・ケイ酸質系塗布防水 (浸透性塗布防水)
・水和凝固形塗布防水
・ 6 ステンレスシート
この項は「共仕」(9.1.2)、(9.1.3)を適用する。
(JASS 8.2)
施工箇所 材質 厚さ (mm) 表面処理 備考
※ SUS304 ※ SUS316
・ N 2 0 (ダル)
・ 焼付塗装
風環境 (地域) ・ 一般 ・ 強風 (台風の高頻度の多い地域)
腐食条件 (地域) ・ 弱 (一般) ・ 強 (海岸地域など腐食性因子の大きい地域)
シーム溶接後の仕上げ部の処理
・ ジョイントキャップ ・ 両はぎ折リ ・ 片はぎ折リ
下地シートの種別 ※ 合成ゴム系シート (接着工法)
・ アスファルトルーフィングQ40
・ ⑦ モルタル防水
一般事項
1) 請負者は防水専門工事業者とともに、下地処理を含め責任施工を行う。
2) 防水層は、そのメーカーの責任ある仕様で施工する。
材料
1) 防水剤は、JIS A 1404 (建築用セメント防水剤の試験方法) による公的機関の試験所での試験成績表を添付する。
2) セメント・砂・水などは、1 5 ㎝ (左官工事) による。
下地
1) モルタル防水の下地となる鉄筋コンクリートは、密実なコンクリートを打設する。
2) コンクリート壁面で、モルタル防水面の型枠緊張剤はコーンを使用する。
3) コンクリートスラブ面は不陸のないように木コチ押えとする。
4) ルーフレインはコンクリート打込みとする。
工法
1) 防水層施工の前に以下の下地処理を行う。
① コーン部
イ、樹脂エマルジョンやゴムラテックスを混入したポリマーセメントモルタルで外壁面まで埋める。
ロ、次にコーン周囲径 100mm 以上の範囲に高分子系セメント防水剤を塗布する。
② 打継ぎ目地は、下記イ・ロ・ハの順序で処理する。
イ、不良部分を取り除き、未地部に高分子系セメント防水剤を塗布する。
ロ、樹脂エマルジョンやゴムラテックスを混入したポリマーセメントモルタルで外壁面まで埋める。
ハ、次に幅 100mm 以上の範囲に高分子系セメント防水剤を塗布する。
③ ひび割れのある箇所
イ、ひび割れの幅が 0.3mm 未満の場合は、合成ゴム系防水剤を幅 50mm でパテかきする。
ロ、ひび割れの幅が 0.3mm 以上の場合は、ひび割れ部にエポキシ樹脂注入を行い、外壁面には幅 50mm で合成ゴム系防水剤をパテかきする。
④ 豆板などの不良箇所
イ、豆板などが内部まで入り込まず、表面で留まっている場合は、粗骨材表面のセメントペーストをワイヤーブラシ等で十分に取り除き、高分子系セメント防水剤を塗布した後、ポリマーセメントモルタルで外壁まで埋める。
ロ、豆板などが内部まで入り込んでいる場合は、監理者と協議して豆板部分をはつり取り、無収縮モルタルなどを充填した後、補修した周辺に高分子系セメント防水剤を塗布する。
2) 防水層の施工に先立ち、コンクリートに十分な水浸しを行う。
3) バルコニー・庭などには、3m 内外で防水層まで建てる収縮目地を設けて、JISA5758 (建築用シーリング材) に適合するシーリングを行う。
4) 防水層の施工完了後3日間は湿潤養生を行う。
施工箇所：
製造者の仕様による。
⑥ シーリング (9.6.2) (表9.6.1)
シーリング材の箇所は図示および以下により、シーリング材の種類は被覆体に依りて以下による。ただし、カーテンウォール工法の場合は除く。
被覆体による区分
シーリング材の種類 (JIS A 5758の付表第2参照)
記号 主成分による区分 耐久性による区分
金属
方立目地 SR-2 シリコン系 10030
上記以外の目地 MS-2 変性シリコン系 9030
コンクリート
ガラス
注) SR-1 シリコン系 9030G
石、タイル
PS-2 ポリサルファイド系 9030
ALC
目地塗装なし MS-2 変性シリコン系 9030
目地塗装あり PU-2 ポリウレタン系 8020
コンクリート
目地塗装なし MS-2 変性シリコン系 9030
目地塗装あり PU-2 ポリウレタン系 8020
目地塗装なし MS-2 変性シリコン系 9030
目地塗装あり PU-2 ポリウレタン系 8020
ALC
ALC
目地塗装なし MS-2 変性シリコン系 9030
目地塗装あり PU-2 ポリウレタン系 8020
目地塗装なし MS-2 変性シリコン系 9030
目地塗装あり PU-2 ポリウレタン系 8020
目地塗装なし MS-2 変性シリコン系 9030
目地塗装あり PU-2 ポリウレタン系 8020
タイル
タイル
PS-2 ポリサルファイド系 9030
アルミニウム製建具の工場シール
通気型取合い部 AC-1 アクリル系 7020
塗膜防水に用いるシーリング剤は、「共仕」(9.5.2 (4)) による。
※ ワーキングジョイントは2面接着、ノンワーキングジョイントは3面接着を原則とする。
注) 以下の場合、シーリング材の種類は図示による。
SSG工法、バックマリオン方式、ガラス点支持工法およびガラススクリーン
2 その他の石張り
・ テラゾ・磁石張り (10.2.1 (b)) (表10.2.1) (表10.2.2)
施工箇所 品質 (産地、程度) 厚さ (mm) 表面仕上 裏面処理 工法
・ 人造石・加工石張り
施工箇所 品質 (産地、程度) 厚さ (mm) 表面仕上 裏面処理 工法
外壁石張り
・ 湿式工法 ※ 流し貼工法 ・ あと施工アンカー工法
・ あと施工アンカー・横筋流し工法
目地材 ※ セメントモルタル ・ シーリング
・ 乾式工法 裏面および裏打ち処理
※ 行わない ・ 行う (裏面処理の場合小口共)
目地材 ※ シーリング
内壁石張り
・ 空積み工法 ※ あと施工アンカー・横筋流し工法 ・ あと施工アンカー工法
目地 ※ セメントモルタル ・ シーリング
・ 乾式工法 裏面および裏打ち処理
※ 行わない ・ 行う (裏面処理の場合小口共)
目地材 ※ シーリング
4 床及び階段の石張り (10.6.2) (10.6.3)
目地材 ※ 目地モルタル ・ 目地シーリング
床石張りの裏面処理
※ 行わない ・ 行う
室内のフックス掛け
※ 行う：ジェットバーナー及びウォータージェット仕上は水性樹脂フックスとする
※ 行わない
表面仕上げ
大理石 ※ 水磨き
花こう石 ※ ジェットバーナー
a 目地幅は以下によるが、乾式工法による目地幅は9mmとする。目地深さは石の表面から1mm程度後退した仕上がりとする。
石の種類 表面仕上 壁用 (mm) 床用 (mm)
外部 (mm) 内部 (mm) 外部 (mm) 内部 (mm)
・ 花こう岩類 磨き 6 6 6 4
ジェットバーナー 8 6 6 4
叩き 8 6 6 4
・ 大理石 磨き ねむり 4
・ テラゾブロック 磨き ねむり 6 4
・ テラゾタイル 磨き ねむり 4 4
b ねむり目地は目地幅1.0～1.5mmとし、小口に糸面をつける。また、小口に絶縁テープなど(塩化ビニル、シリコンなど)を張り、石の伸縮による小口破壊を防止する。
雨掛り部分や水を持ち込む床などは縁目地としてはならない。
c 目地材をシーリングする場合は、第9章9による。
d 乾式工法以外の伸縮調整目地位置は、図示による。 (10.3.3 (e)) (10.4.3 (e))
e 風圧力・地震力に対する性能
1) 面内性能 (追従性)
① 石材および取付け金物は、下記の層間変位量に対して右欄の程度を超えない。
層間変位量 程度 備考
階高の1/300以内 仮ら構傷なく、両側押えを含め機能性が確保され
かつ12mm以内 ている (無損傷)
階高の1/200以内 石材、取付け金物に損傷はないが、シーリングの
かつ25mm以内 補修が必要な程度の損傷にとどめる。
② 建物本体の最大層間変形係数 (・ 1/100 ・ 1/125 ・ 1/150 ・ /) による
変形に対しては、石材の破壊、脱落を発生させない。
2) 面外性能
① 取付け金物の最大たわみは、支点間距離の1/100以下、かつ20mm以内とし、有害な亀裂の発生及びたわみの残留等がない。
ただし、下記の条件による。
・ 地震力・震度 水平方向 1.0
・ 設計用風圧力 (建築基準法)
② 建物本体の変形に追従する取付け金物の面外変形に対しては、1) 面内性能 ① の階高を支点間距離と読み替えて程度欄の内容を超えない。
3) 強度に対する性能
取付け金物は、風圧力・地震力等による応力に対して、許容値以下とする。
ただし、地震力は下記による。
震度 水平方向 (K h) ※ 1.0
垂直方向 (K v) ※ 1.0 ・ 0.5
b 耐温度変性性能
部材の年間温度変化 (ΔT=75℃ (+60～-15℃) に対して、構造上、異種上有害な欠陥を生じないものとする。
a 剛性の確保
石材の剛性が不足する場合には、FRP補強などの処理を行う。
b 白華などの防止
1) 裏込めモルタル、目地モルタル、あるいは正面からの透水により、白華現象または他の化学現象が現れるおそれのある場合には、白華防止用湿和剤を使用する。
2) 白華や石のぬれ色の心配のある石材を使用する場合には、裏面および小口処理を行う。
c 付着力の確保
付着性の必要な部分に張付ける石材の裏面処理は、付着力確保のための処置をとる。
d 乾式工法
1) 原則として1段目の石までは、衝撃による石の破壊を防止するための砕石またはモルタルを裏込める。
2) 石の裏側へ侵入した水の処理は、巾木上層部分の防水処理を施し、巾木上で外部へ侵入水を排出する機構とする。防水処理は塗膜防水を施し、巾木石とその上部の石との目地を15mm以上の空目地とするか、ドレンパイプを設ける。
3) 裏込めモルタルを施す巾木などは裏面処理を行う。
4) 伸縮目地および変位吸収目地の位置および幅は施工計画の段階で十分に検討する。
e 湿式工法
室内の石張りの場合は、衝撃による破壊防止のために、原則として床面より300mm以上は全とる工法として、これより上部は石の水平目地の取付け金物部分に上下100mm程度の幅で等状に裏込めモルタルを充填する等とる工法とする。等とるは適当な間隔で切って上下の通気をとる。伸縮目地および変位吸収目地の位置および幅は施工計画の段階で十分に検討する。
・ コンクリートはつり仕上げ
・ つつき仕上げ ・ ビシャン仕上げ ・ 小叩き仕上げ ・ サンドブラスト仕上げ
8 その他の石工事

第12章 木工事		③ スレート波板葺	地域指定 波の種類	・ 強風地域 ・ 小波 ・ 多雪地域 ・ 中波 ・ その他 ・ 大波	(13.4.1) (13.4.2)
① 木材の品質	表面仕上げの程度	・ A種(超自動機械かんながけ仕上げ) ※ B種(中自動かんながけ仕上げ) ・ C種(自動機械かんながけ仕上げ)	(表12.1.1)		
	含水率	※ A種(構造材・下地材20%以下、造作材18%以下) ・ B種(構造材・下地材25%以下、造作材20%以下)	(表12.2.1)		
	構造材、下地材の基準	※ 12.2.1(4)による	(12.2.1(b)(4))		
② 集成材	造作材の基準	※ A種 ・ B種	(表12.2.2)		
	代用樹種の適用	※ 適用可 ・ 適用しない箇所:	(表12.2.3)		
	構造用パネル、集成材および単板積層材は、仕上げ・下地部分に拘わらず、F☆☆☆☆等級、または同等品以上のものを使用する。				
③ 防雨処理	集成材	・ 施工箇所	規格・品質	芯材の樹種	備考
	休屋壁込み上りカマチ	※ 一般材	※ たも	・ なら	・ しおじ
	A・B階段手摺壁木	※ 一般材	※ たも	・ なら	・ しおじ
④ 床板張り	構造用集成材	(12.2.2(1))(JAS)			
	品名: 施工部位	強度等級	材面の品質(種)	樹種名	接着性能(使用環境)
	大断面:		・ 1 ※ 2	・ 3	・ 1
⑤ 手摺およびタラップ等	中断面:		・ 1 ※ 2	・ 3	・ 1
	小断面:		・ 1 ※ 2	・ 3	・ 1
	その他:				
⑥ 折板葺	(注) 1. 品名の()内には、梁・小屋組等の使用部位を記載する。 2. 「大断面」は短辺15cm以上長辺300cm以上のもの。 3. 「中断面」は短辺7.5cm以上長辺15cm以上で、大断面以外のもの。 4. 「小断面」は短辺7.5cm未満または長辺15cm未満のもの。 5. 「強度等級」はJAS構造用集成材、曲げA試験による等級。 6. 「使用環境1」は耐水、耐候、耐熱性等について、高度な性能が要求される環境。 7. 「使用環境2」は、通常の性能が要求される環境。 8. 「樹種名」は、使用量の多いものから順に記載する。				
	造作用集成材	(12.2.2(2))			
	施工箇所	等級(JAS基準)	単材の樹種	厚さ(mm)	備考
⑦ 金属瓦成形板張り	化粧張り造作用集成材	(12.2.2(3))			
	施工箇所	単板の樹種	単板の厚さ(mm)		備考
	敷居、樫、階段上面	・	※ 1.5以上	・	
⑧ アルミミニウム製壁木	柱、枠、縁縁	・	※ 1.2以上	・	
	敷居の裏面	・	※ 3.0堅木	・	
	寄指	・	※ 3.0堅木	・	
⑨ システム天井	その他:	・	※ 0.6以上	・	
	木造建築物の場合	※ JAS 11.1.12により構造上主要な部分の樹種の選定と含水率制御を望み、土台のほか地面から高さ1m以下の外周壁内および水廻り室に接する壁内の木部の防雨・防露処理(木材保存薬剤)を行う。ただし、木材保存薬剤は非有機リン系とし、(社)日本木材保存協会の認定品とする。			
	R・Oの場合	※ コンクリートに接する土台、大引き、樫木等の防露処理は非有機リン系とし、(社)日本木材保存協会の認定品とする。			
⑩ アルミニウム製壁木	フローリングおよび階甲板張り床	(12.7.1)			
	下張り用床板	・ 無し	※ 有り	※ 合板張り	・ 板張り
	床板は第19章を参照				
⑪ アルミニウム製壁木	畳敷き	(12.7.1)			
	畳下床板	※ 有り	(※ 合板張り	・ 板張り	・ 無し
	畳下床板	※ 有り	(※ 合板張り	・ 板張り	・ 無し
第13章 屋根およびとい工事					
1 長尺金属板葺	屋根裏形式	材 種	板厚(mm)		備考
	・ 瓦構葺	※ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板	・ 0.4		
	・ 平葺	・ 塗装溶融亜鉛アルミニウム合金めっき鋼板	・ 0.6		
② 折板葺	・ 横葺	・	・		
	・ 立はせ葺	・ 塗装アルミ鋼板	・		
	・ 塗装ステンレス鋼板	・	・		
③ 折板葺	専門工事業者は製造所の指定業者とする。 製造所()				
	下葺材	※ ゴムアスファルト系シート	・ アスファルトルーフィング940		
	(13.3.2)(13.3.3)				
④ 折板葺	工法形式	材 種	板厚(mm)		備考
	※ 重ね形	※ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板	・ 0.6		
	○ はげ持ち形(166mm)	○ 塗装溶融亜鉛アルミニウム合金めっき鋼板	○ 0.8		
⑤ 折板葺	・ かん合形	・	・		
	寸法	山高: 166 mm	山ピッチ: 300 mm		
	耐火性能	※ 30分耐火	・ 無し		
⑥ 折板葺	軒先面戸板	※ 有り(耐火シールの有無)	※ 有	・ 無	
	・ 無し	・	・		
	断熱材	※ 有り	種別: 古川電工フネンエース等品	厚さ 6 mm	
⑦ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
⑧ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
⑨ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
⑩ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
⑪ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
⑫ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
⑬ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
⑭ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
⑮ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
⑯ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
⑰ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
⑱ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㉑ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㉒ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㉓ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㉔ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㉕ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㉖ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㉗ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㉘ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㉙ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㉚ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㉛ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㉜ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㉝ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㉞ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㉟ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㊱ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㊲ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㊳ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㊴ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㊵ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㊶ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㊷ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㊸ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㊹ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㊺ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㊻ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㊼ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㊽ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㊾ 折板葺	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
	・ 無し	・	・		
㊿ 折板葺	・ 無し	・	・		

⑤ 材料と取付け方法	⑥ カーテンウォールユニット間のシーリング材 (17.2.2) (17.2.3) (9.6.2) (表9.6.1)		⑦ 取付け用金属の表面処理 (鉄の亜鉛めっき) および材質 (17.3.2) (14.3.2) (表14.2.2)		21 湾形ポリウレタン樹脂エナメル焼付塗装	アルミニウム・亜鉛めっき鋼板・ステンレス類に適用する (工場塗装)。
	被着体による区分		シーリング材の種類 (JIS A 5758の付属書2参照)		金物種別および部位	
	ガラス・マリオン方式		記号	主成分による区分 耐久性による区分	内 部	
	ガラス廻り目地		SR-2	シリコン系	※ E種	
	方立目地		SR-2	シリコン系	※ A種	
	ガラス廻り目地		SR-2	シリコン系	※ E種	
	パネル目地		MS-2	変性シリコン系	※ A種	
	P.C板目地		MS-2	変性シリコン系	※ E種	
	窓枠廻り目地		MS-2	変性シリコン系	※ E種	
	ガラス廻り目地		SR-2	シリコン系	※ E種	
	上記以外のシーリング材と被着体の組合せは第9章 9.による。		第18章 塗装工事		A種：溶融亜鉛めっき付着量 550g/㎡以上、E種：電気亜鉛めっき付着量13μm以上 上記以外はカーテンウォール製造者の仕様による。	
	カーテンウォールユニット間の接合方式		① 共通事項		a 屋内の壁および天井の塗装仕上材は、防火材料または建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものを使用する。	
	メタルカーテンウォール		② 塗装業者		b 塗料の使用制限 (室内空気汚染対策)	
	・ オープンジョイント方式		③ 素地ごしらえの種別		第1章 一般共通事項7の規定によるほか、室内の塗装は、以下による。	
	・ ダブルシール方式		④ 禁止塗料種別		1) 壁・天井の室内仕上げに使用する塗料は、特記を除き、水性エマルジョン系塗料の低VOC対策品とし、以下のものを使用する。	
	・ シングルシール方式		⑤ 禁止塗料塗り		※ VOC量1%未満 ・ VOC量5%未満	
	P.Cカーテンウォール		⑥ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)		2) 建築基準法の適用上 室内仕上げ材の使用面積規制を受けない部分 (回り縁、巾木、手摺等の部分、および換気格・窓台等) の塗装仕上げは、特記を除き、F☆☆☆☆等級または同等品以上でVOCの発散がより少ないものを使用する。	
	※ オープンジョイント方式としない		⑦ 木部クレーラーラッカー塗り (CL)		3) 室内空気環境をより有利にするために、工事責任者は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、テトラカデン等の発散が少ない塗装を比較検討して監理者に報告する。	
	オープンジョイントのユニット接合部は、室内側は雨水が伝わらない構造とする。		⑧ フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)		特に、代替塗装を使用する場合の性能は、JIS規格品またはJIS準拠品等の確認を行う。	
	※ ユニット接合部の構造はパネル周辺の側面中間部に防水用の溝を設ける。		⑨ 塩化ビニル樹脂エナメル塗り (VE)		4) ホルムアルデヒド発散等級を指定した塗装は、仕上げ・下地材 (亜鉛めっき面に施すプライマー、錆止め塗装、塗装工程の各層を含む) の各層を同等以上の等級とする。	
	ユニット間の外側目地は変成シリコン系シーリングとし、内側目地はクロプロレングムのタッチ式とし、耐火上必要な範囲は耐火目地材を充填する。		⑩ アクリル樹脂エナメル塗り (AE)		※ F☆☆☆☆、且つVOC対策品 (合成樹脂アクリルエマルジョン系等) に代替する。	
	耐火目地材		⑪ 2湾形ポリウレタンエナメル塗り (2-UE)		・ 「共仕」 (F☆☆☆☆) による。 (表18.4.1) (表18.4.2) (表18.4.3)	
	・ ロックワール系		⑫ アクリルシリコン樹脂エナメル塗り (2-ASE)		※ F☆☆☆☆、且つVOC対策品 (水性ウレタンクレーラー等) に代替する。	
	・ セラミックファイバー系		⑬ 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り (2-FUE)		・ 「共仕」による。 F☆☆☆☆ (表18.5.1)	
	ユニット間の目地寸法		⑭ つや有合成樹脂エマルジョンペンイント塗り (EP-G)		鉄面および亜鉛めっき面	
	・ 25mm		⑮ 合成樹脂エマルジョン塗料 (EP)		※ F☆☆☆☆、且つVOC対策品 (水性反応硬化形アクリルエマルジョン樹脂系等) に代替する。	
	・ 20mm		⑯ 多形模様塗料塗り (EP-M)		・ 「共仕」による。 F☆☆☆☆ (表18.6.1) (表18.6.2)	
	c ガラスの支持方式と検査調整		⑰ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)		木部 「共仕」による。 F☆☆☆☆	
	・ 不定形シーリング材工法		⑱ マスチック塗料塗り		※ F☆☆☆☆、且つVOC対策品 (水性系アクリルエマルジョン樹脂塗料等) に代替する。	
	・ 構造ガスケット工法		⑲ 木部油性ステイン塗り (OS)		・ 「共仕」による。 A種 ※ B種 (F☆☆☆☆) (表18.7.1)	
	・ グレーニングガスケット工法		⑳ PCカーテンウォール		屋外 コンクリートおよびモルタル面	
	・ SSG工法:		a 材料の種類および品質		※ A種 ※ B種	
	・ DPG工法:		コンクリート種類		A種 ※ B種	
	d 断熱材料		設計基準強度 (Fc)		※ 軽質コンクリート1種	
	(17.2.2) (17.3.2)		所要スランプ		※ 300mm	
	断熱材料は断熱および結露防止のために張付けまたは吹付ける。		所要スランプ		※ 80mm以下	
	材質は断熱性能と所定の防火性能を有し、接触する金属等に腐食を起こさないものとする。		所要気乾単位容積質量		※ 1.9t/㎡以下	
	指定材料:		鉄筋		※ SD295A	
	e 断熱材の施工		※ コンクリート強度の確認試験は、第3者機関とし、回数等は監理者と協議する。		※ 上記以外は「共仕」(17.3.2)による。	
	f 耐火材料		b 表面仕上げ材料		① 共通事項	
	(17.2.5)		・ ファスナー部		a 屋内の壁および天井の塗装仕上材は、防火材料または建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものを使用する。	
	・ 取付けブラケット部		・ パネル耐火目地部		b 塗料の使用制限 (室内空気汚染対策)	
	・ 層間区画パネル		耐火材料は断熱および結露防止のために張付けまたは吹付ける。		第1章 一般共通事項7の規定によるほか、室内の塗装は、以下による。	
	耐火材料または断熱材量は、飛散しないよう表面を処理する。		耐火材料、断熱材量は耐火、結露水が接触するおそれのある場合、生成された溶液による金属部分の腐食を避けるため、耐火材料、断熱材量の表面には水または防水処理を施す。		1) 壁・天井の室内仕上げに使用する塗料は、特記を除き、水性エマルジョン系塗料の低VOC対策品とし、以下のものを使用する。	
	g 管理用コンドラーゲル		ガイドレールの精度		※ VOC量1%未満 ・ VOC量5%未満	
	コンドラーに接する部材の性能		レールの間隔		2) 建築基準法の適用上 室内仕上げ材の使用面積規制を受けない部分 (回り縁、巾木、手摺等の部分、および換気格・窓台等) の塗装仕上げは、特記を除き、F☆☆☆☆等級または同等品以上でVOCの発散がより少ないものを使用する。	
	衝撃荷重 ※ ガイドローラーを使用した場合0.5G、その他の場合1.0Gの加速度をゴン		レールの接続部のずれ		3) 室内空気環境をより有利にするために、工事責任者は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、テトラカデン等の発散が少ない塗装を比較検討して監理者に報告する。	
	ドに受けたとき、コンドラーに接触する部材に残留変形がないこと。		レールの傾き		特に、代替塗装を使用する場合の性能は、JIS規格品またはJIS準拠品等の確認を行う。	
	風、地震による荷重		ガイドレールの傾き		4) ホルムアルデヒド発散等級を指定した塗装は、仕上げ・下地材 (亜鉛めっき面に施すプライマー、錆止め塗装、塗装工程の各層を含む) の各層を同等以上の等級とする。	
	※ コンドラーが風速16m/secの風圧を受けたとき、コンドラーに接触する部材に残留変形がないこと。		レールの傾き		※ F☆☆☆☆、且つVOC対策品 (水性系アクリルエマルジョン樹脂塗料等) に代替する。	
	h 鋼材料		鋼材・鋼板の種類		・ 「共仕」による。 F☆☆☆☆ (表18.6.1) (表18.6.2)	
	鋼材・鋼板の種類		・ アルミニウム材料		木部 「共仕」による。 F☆☆☆☆	
	鋼材・鋼板の種類		最小厚さ (mm)		※ F☆☆☆☆、且つVOC対策品 (水性系アクリルエマルジョン樹脂塗料等) に代替する。	
	鋼材・鋼板の種類		鋼材・鋼板の種類		・ 「共仕」による。 A種 ※ B種 (F☆☆☆☆) (表18.7.1)	
	鋼材・鋼板の種類		鋼材・鋼板の種類		屋外 コンクリートおよびモルタル面	
	鋼材・鋼板の種類		鋼材・鋼板の種類		※ A種 ※ B種	
	鋼材・鋼板の種類		鋼材・鋼板の種類		A種 ※ B種	
	鋼材・鋼板の種類		鋼材・鋼板の種類		A種 ※ B種	
	鋼材・鋼板の種類		鋼材・鋼板の種類		A種 ※ B種	
	鋼材・鋼板の種類		鋼材・鋼板の種類		A種 ※ B種	
	鋼材・鋼板の種類		鋼材・鋼板の種類		A種 ※ B種	
	鋼材・鋼板の種類		鋼材・鋼板の種類		A種 ※ B種	
	鋼材・鋼板の種類		鋼材・鋼板の種類		A種 ※ B種	
	鋼材・鋼板の種類		鋼材・鋼板の種類		A種 ※ B種	
	鋼材・鋼板の種類		鋼材・鋼板の種類		A種 ※ B種	
	鋼材・鋼板の種類		鋼材・鋼板の種類		A種 ※ B種	
	鋼材・鋼板の種類		鋼材・鋼板の種類		A種 ※ B種	
	鋼材・鋼板の種類		鋼材・鋼板の種類		A種 ※ B種	
	鋼材・鋼板の種類		鋼材・鋼板の種類		A種 ※ B種	

第19章 内装工事

① 共通事項

室内空気汚染対策
第1章 一般共通事項7の規定のほか、以下による。
a 室内仕上げは、特記を除き、非ホルムアルデヒド発散建材またはF☆☆☆☆等級の建材を使用する。
b 上記の仕上げが透過性材料(壁紙・カーペット、その他 審査機関が認める場合の材料(例:塗装、コルクタイル・シート等))の場合の下地材は、仕上げ材の等級以上の材料とする。
c パーティクルボード・繊維板・合成樹脂板・木片チップ製の加工板等を基材とした化粧板(既製品)は、表面材・基材・接着剤とも、F☆☆☆☆等級以上の材料で構成する。
d 室内と通常の納まりで区画された天井裏・床下・壁内部等の部分に使用する建材は、以下による。
※ 特記を除き、F☆☆☆☆等級以上の建材を使用する。尚、チャンバー式の天井裏、室内側に床下換気口を設けた床下の建材等は、特記による。
※ 非ホルムアルデヒド発散建材またはF☆☆☆☆等級品とする。
e 施工用接着剤は、JIS適合品で、非ホルムアルデヒド発散建材またはF☆☆☆☆等級のもので、特にトルエン、キシレン、アセトアルデヒド、エチルベンゼン等の発散が、より少ないものを使用する。
f 室内・天井裏等は、ポリスチレン樹脂を使用した断熱材等の使用を避ける。

② ビニル床シート
ビニル床タイル等 (19.2.2)

種 類	色 柄	厚 さ (mm)	備 考
※ 発泡層のあるもの	・ 無地 ・ マーブル柄	※ 2.3 ・ 2.5	
○ 発泡層のないもの	・ 無地 ・ 柄物	※ 2.5 ・ ○ 2.0	
工 法	※ 熱溶接工法 ・ 突き付け (施工箇所: 図示)		(19.2.3)

○ リノリウム床シート張り 東リ、リノリウム2t 同等品
厚さ(mm) ※ 2.5 ・ 2.0 ※ 熱溶接工法

種 類	色 柄	厚 さ (mm)	備 考
※ コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※ 2.0	
・ コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS		
・ ホモジニアスビニル床タイル	HT		

・ 帯電防止床タイル張り
種類 ※ コンポジションビニル床タイル
性能 体積抵抗値(JIS K 6911による) $5.2 \times 10^7 \sim 10^9 \Omega \cdot \text{cm}$
厚さ(mm) ※ 2 ・ 4.0または4.5

○ ビニル巾木
高さ(mm) ・ 60 ○ 75 ・ 100
厚さ ※ 2.0
硬さ ※ 半硬質 ・ 硬質

・ ゴム床タイル
厚さ(mm) ・ 3.0 ・ 4.0 ・ 6.0
色柄 ・ 無地 ・ 柄

3 カーペット敷き

・ 絨じゅうたん(ワイルドン、アキストミンスター、だん通) (19.3.3) (表19.3.4)
種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 特種() (表19.3.1)
パイル形状 ・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用
色柄 ※ 単色(無地) ・ 柄物(標準品)
帯電性 人体電圧 ・ 2.0kV以下 ※ 3.0kV以下

種 別	パイル長 (mm)	工 法	帯電性	備 考
・ カットパイル	※ 5~7	※ 金面接着工法	人体帯電性	
・ マルチレベルループ	※ 4~6	・ グリッパ工法		
・ レベルループパイル	※ 4			
・ カット、ループ併用				

・ ニードルパンチカーペット (19.3.3) (表19.3.2)
長さ(mm) ※ 5
ラバー ・ 有り ※ 無し
帯電性 ・ 2.0kV以下 ※ 3.0kV以下

パイル形状	種 別	人体帯電性	備 考
※ ループパイル	※ A種 ・ B種	・ 0.5kV以下 ※ 1.0kV以下	
・ カットパイル		・ グリッパ工法	

種類・パイル形状	寸法 (mm)	厚さ (mm)	下敷き材	敷き方 平/階段
※ 第1種のループパイル	※ 500×500	※ 6.5	※ JIS L 3204 第2種2号	※ 市松/横流し

④ 合成樹脂塗床 (19.4.2) (表19.4.1~表19.4.7)

種 類	仕 上	施工箇所	備 考
・ 弾性ウレタン塗床	※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ		
・ エポキシ樹脂塗床	※ 導流し層仕上げ ・ 導流し層仕上げ(※ 平滑 ・ 防滑) ・ 樹脂モルタル仕上げ(※ 平滑 ・ 防滑) ・ 防滑仕上げ		
○ MMA樹脂系塗床	ベスト工法(4mm)	図示	※ グリッパ工法(ABC適合)
○ 樹脂系ウレタン塗床	NS工法(7mm)	図示	※ グリッパ工法(ABC適合)

⑤ フローリング張り (19.6.2) (19.5.7) (表19.5.4)

区 分	樹種	等級	板厚 (mm)	備 考
フローリング	・ フローリングボード(含 積層)	・ なら ・ 1等50%以上 で1.2等混合	15	根太適用 下張り ※ 有 ・ 無(防湿加工)
	・ フローリングブロック	・ なら	2等	15 裏面防水処理 足金具: 垂れめつき銅板製
	・ モザイクパーケット	・ なら	2等	※ 8 湿気に配慮して裏面は防湿シートを接着する
複合フローリング	複合フローリング	図示	図示	・ 16 ・ 下張り無 ※ 14.5 裏面は防水処理する
○ 縁甲板	ひのき	複合フローリング縁甲板	15	板幅 105mm

仕上げ塗装は、図示による。

⑥ 畳敷き

畳の種類は、JIS A 5914 (建材床) I型とし、芯材はインシュレーションボード JIS A 5905 によるタタミボード T-1B、または同等品以上とする。
・ 減農薬・天然泥染めたたたみを使用する。

7 その他の床材

⑧ セッコウボード
その他のボード張り (19.7.2)

区 分	記号	厚 さ (mm)	備 考
・ 難燃木毛セメント板	—	・ 15 ・ 20 ・ 25	
・ 断熱木毛セメント板	—	・ 15 ・ 20 ・ 25	
・ フレキシブル板	F	・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 8	
・ 軟質フレキシブル板	NF	・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6	
・ スレートボード(平板)	NF	・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6	
・ 同上(軟質板)	NF	・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6	
○ けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ2(黒石綿) ○ 6 ○ 8 ・ 10 ○ 12	
・ インシュレーションボード	IB	タタミボード ・ 10 ・ 15 ・ 20	
・ MDF	MDF	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・ 15	
・ ハードボード	HB	・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7	
・ パーティクルボード	—	・ 15 ・ 18	
○ ロックウール化粧吸音板	DR	※ フラットタイプ ※ 9 ・ 12 ○ 凹凸タイプ ※ 12 ・ 15 ・ 19	
○ ロックウール化粧吸音板	—	※ フラットタイプ ※ 9 (不燃) ・ 凹凸タイプ ※ 12 ・ 15 (不燃)	

○ セッコウボード	GB-R	○ 9.5 (準不燃) ○ 12.5 (不燃) ・ 15.0 (不燃)	
○ シーキングセッコウボード	GB-S	・ 9.5 (準不燃) ○ 12.5 (不燃) ・ 12.5 (・ 準不燃 ・ 不燃)	
○ 強化セッコウボード	GB-F	・ 12.5 (不燃) ・ 15.0 (不燃) ○ 21.0 (不燃)	
・ セッコウラスボード	GB-L	9.5	
・ 化粧セッコウボード	GB-D	・ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (不燃)	
○ 化粧セッコウボード(木目)	GB-D	12.5 (不燃) 幅 440 程度 ○ 9.5 (不燃)	
・ 不燃積層セッコウボード	GB-NC	12.5 (不燃)	
・メラミン樹脂化粧板	—	JIS K 6903 による 厚さ1.2	
・ アルミバスタブ			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・</			

工事区分表

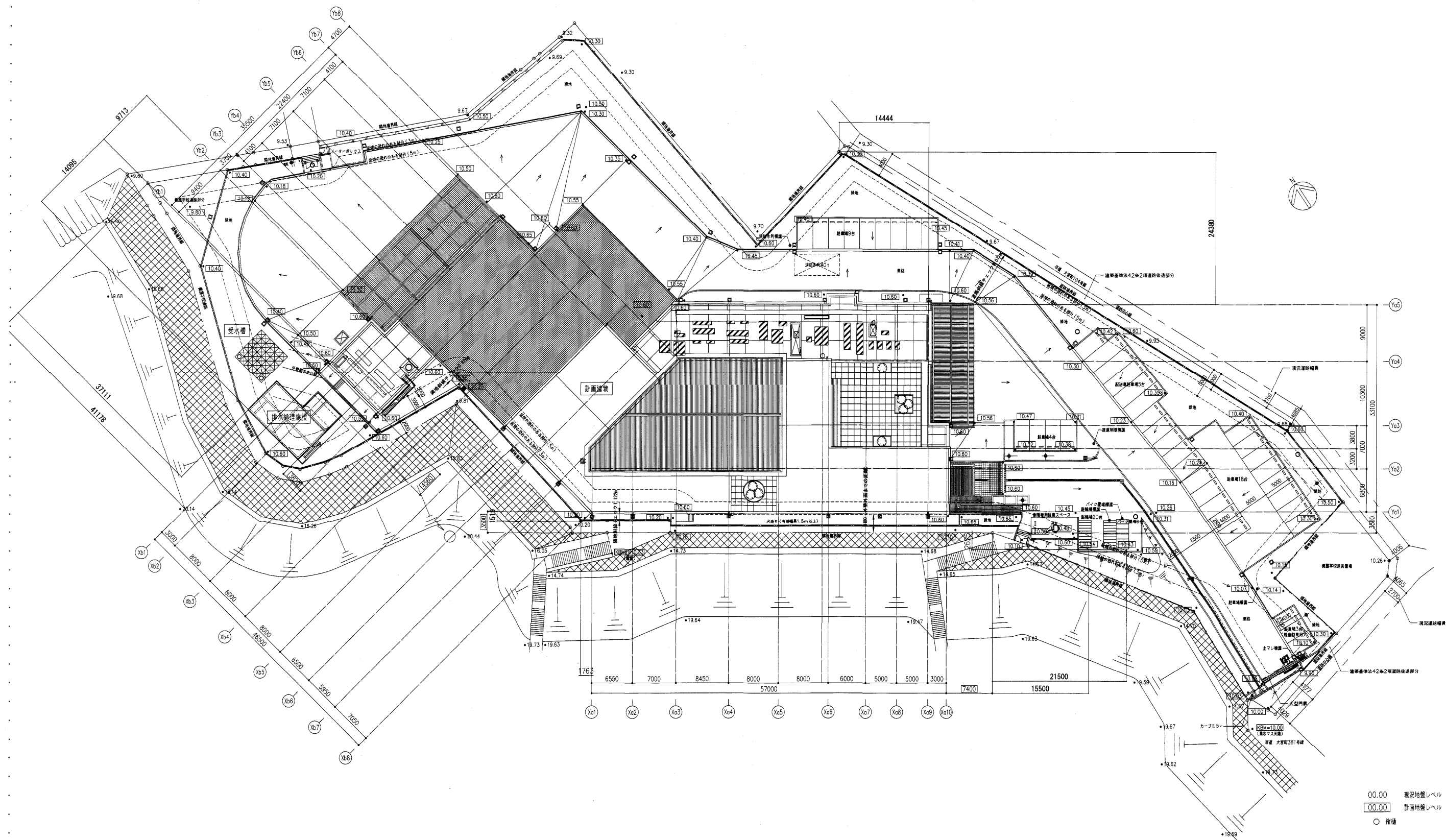
設計図によるほか、下記の ○ 印、および ⊙ 印を工事区分(見積区分)とする。疑義を生じた場合は質疑応答等により確認すること。

工 事 項 目	建築	電気	空調	衛生	昇降機	別途	備考
1. 共通項目							
1 工事上の各種申請届出費用	○	○	○	○	○		関連工事別
2 工事用電力・上下水道引込工事	○						
3 工事用電力・上下水道料金(引込負担金・基本料金を含む)	○	○	○	○	○		使用工事別
4 本設電力引込工事		○					引込負担金は別途
5 本設上水引込工事				○			引込負担金は別途
6 本設下水引込工事					○		引込負担金は別途
7 本設ガス引込工事					○		引込負担金は別途
8 本設受電後引込までの電力基本料金	○	○	○	○	○		○ 試運転用も含む
9 本設後引込までの上水基本料金	○	○	○	○	○		○ 試運転用も含む
10 本設後引込までの下水基本料金	○	○	○	○	○		○ 試運転用も含む
11 本設後引込までのガス基本料金	○	○	○	○	○		○ 試運転用も含む
12 本設受電後引込までの電力・上下水道・ガス使用料金	○	○	○	○	○		○ 試運転用も含む
13 電話本設引込工事		○					引込負担金は別途
14 既存上下水道・ガス管の撤去・取付					○		
15 敷地以外の引込負担金(電力・ガス・上水・下水)	○	○	○	○	○		○
16 CATV引込工事							○
17 工事施工に関する電気障害調査	○						
18 工事施工に関する電気障害対策工事	○						
2. 機械基礎							
1 機械基礎(仕上げ含む)	○						図示による
2 周上アンカーボルト・箱入れ・埋込み	○	○	○	○	○		関連工事別
3. 躯体貫通							
1 地中梁の通過管・通気管・人通り・補強	○						
2 S・SRC連続貫通スリーブ・補強	○						
3 RC連続貫通スリーブ	○	○	○	○	○		関連工事別
4 周上補強(100mmφを超えるもの)	○						
5 床・壁の貫通スリーブ・箱入れ	○	○	○	○	○		関連工事別
6 周上補強(長さ150mm角を超えるもの)	○						
7 各種貫通穴あけ(壁等の穴あけ・補修)	○	○	○	○	○		関連工事別
8 機械出入口の確保・取付	○						
9 周上仕上・重量物搬出入用フック・ビーム取付	○						
4. 躯体以外の開口・貫通							
1 (工場製作躯体仕切り壁)開口・取付枠・補強	○						
2 (現場製作躯体仕切り壁)開口・取付枠・補強	○	○	○	○	○		関連工事別
3 躯体仕切り壁開口部の穴あけ・補修	○	○	○	○	○		関連工事別
4 天井付各種器具の開口・取付枠・補強	○						
5 壁・床の直付各種器具取付枠・補強	○	○	○	○	○		関連工事別
6 フロック・れんがの設備機器取付用開口・取付枠・補強	○						
7 入出力パネル・押出成形セメント板・PCパネルの壁開口・補強	○						
5. 点検口・ガラリ							
1 外壁取付けガラリ	○						
2 周上FD・VD・フィルター類	○		○				関連工事別
3 周上接続用アンクル・防鳥防虫ネット	○						
4 レタラガラリ	○			○			図示による
5 ドアガラリ	○						
6 点検口(天井・壁・床)	○						
6. 排水工事							
1 室内雨水排水工事	○						屋外第一軒への接続を含む
2 敷地内雨水排水工事	○						図示による
3 敷地内汚水排水工事				○			図示による
4 室内汚水排水工事				○			
5 敷地外本管への接続				○			農林省令第14号に準拠
6 RC造オールドラップ・グリーストラップ一式							図示による
7 オールドラップ・グリーストラップ(既製品)				○			図示による

工 事 項 目	建築	電気	空調	衛生	昇降機	別途	備考
7. 水廻り							
1 洗濯機パン	○						
2 ユニットシャワー	○						
3 浴槽	○						
4 シャワーカーテン	○						
5 トイレ・シャワー・浴室の排水工事			○				
6 ユニットバス・トイレ・シャワー・浴室の二次側電気配管配線		○					
7 ユニットバス・トイレ・シャワー・浴室の給排水管接続				○			
8 洗面台・手洗い・レンジフード・洗面化粧台	○						
9 周上給排水管接続・ダクト接続			○	○			
10 流し台のトラップ類金物	○						
11 ガス湯沸器・電気湯沸器				○			
12 周上取付枠	○						
13 周上電気配管配線		○					二次側を含む
14 大型化粧鏡	○						450×600以下は衛生
15 メディシンキャビネット・タオルバー	○						衛生用
16 ペーパーホルダー				○			衛生用
17 便所の手摺	○						
18 流し台・吊戸棚	○						
19 レンジフード	○						
8. ビット・マンホール・各種等							
1 電気室・配電室・機械室・厨房のビット・蓋	○						
2 湯水・汚水ビット・RC造各種水栓	○						
3 周上防水・マンホール・トラップ式	○						
4 周上蓄熱断熱一式							
5 浴室電極棒取付座		○					関連工事別
6 各種湯減水栓・浴室電極棒取付座		○					関連工事別
7 周上電気配管配線		○					
8 周上オーバーフロー・通気管取付座				○			
9 埋設オイルタンク・レンチの躯体・防水	○						図示による
10 周上本体注油口・他付属品一式							関連工事別
11 室内マンホールの躯体・鉄筋・化粧蓋	○						関連工事別
12 室内マンホールの化粧蓋	○						図示による
13 室内マンホールの化粧蓋	○						図示による
14 屋外会所側・マンホール・ハンドホール等の化粧蓋	○			○			関連工事別
15 屋外排水側溝・底蓋	○						側溝に接した雨水側を含む
16 レンチの躯体・排水溝・仕上げ							
17 周上設備配管等の突出							関連工事別
9. 設備関連工事など							
1 電動機・同接付			○	○			関連工事別
2 一般制御盤・電動機端子までの電気配管配線		○					関連工事別
3 機器所蔵制御盤・二次側電気配管配線		○	○	○			関連工事別
4 各種機器の接地工事(冷凍機・ボイラー・パンプ・ポンプユニットも含む)		○					関連工事別
5 冷凍機・ボイラー・パッケージなどの通風操作用・放熱管線用リレー端子の取付			○	○			関連工事別
6 周上より監視盤までの電気配管配線		○					
7 空調用自動制御器・自動制御器・同取付調整			○				
8 周上側の電気配管配線		○					
9 空調用自動制御器への電源送り		○					
10 周上より中央監視盤までの電気配管配線(含・親機・子機伝送装置)			○				図示による
11 ガス漏れ警報器・受信盤・同電気配管配線			○				
12 ガス緊急遮断弁				○			
13 周上用受信盤・電気配管配線		○					
14 機械警備用センサー・同配線		○					○
15 周上用配管		○					
16 機械警備監視盤		○					○ 図示による
17 センサー取付け用裏板(鋼・枠とも)		○					
18 床電型ファンコイルユニット・ラジエーター本体							
19 周上用化粧カバー・吹出口・スイッチ蓋							図示による
20 電話用配管・端子盤		○					
21 周上配線・端子		○					○
22 MDF・PBX・電話機		○					○
23 フェーダー・ベントキャップ			○				
24 水道漏測メーター							関連工事別

工 事 項 目	建築	電気	空調	衛生	昇降機	別途	備考
10. 防火防災設備など							
1 消火栓ボックス		○		○			図示による
2 周上起動用押しボタン・表示灯・電話		○					
3 消火ポンプ制御盤				○			
4 周上起動リレー		○					
5 周上制御盤までの二次側電気配線		○					
6 周上以降の二次側電気配線配線					○		
7 不活性ガス消火用機器・同取付							
8 周上用制御盤への電源送り							
9 周上用制御盤・電気配管配線							
10 周上より火災警報機・制御盤までの電気配管配線							
11 スプリンクラー・消火栓起動用圧力スイッチ							
12 周上制御盤(ポンプユニット)							
13 周上用電源工事							
14 給気ダンパー・同取付装置							
15 周上用化粧ガラリ							図示による
16 給気ダンパー・排煙口運動装置							
17 防火監視盤までの配管配線							
18 排煙窓手動開放装置リミットスイッチ							
19 周上より防火監視盤までの配管配線							
11. 防火戸など							
1 防火戸・防火シャッター・防火防煙シャッター・自動式防煙シャッター・付着金物・自動閉鎖(両方)装置・作動確認スイッチ		○					
2 周上用制御盤・電源・予備電源・煙感知器・上記警報機防火扉までの電気配管配線		○					
3 システム二次側電気配線配線		○					
4 防火区画・排煙区画貫通部処理	○	○	○	○	○		関連工事別
12. 自動扉							
1 駆動装置・感知装置		○					制御盤を含む
2 周上配管配線		○					
3 周上用電源一次側配管配線			○				
13. 昇降機設備							
1 機械室の床開口・補強・埋戻し・同補修	○						
2 機械室の床配線ビット・蓋	○						
3 機械室の上げ床コンクリート打設・仕上	○						
4 巻掛機周囲のチェッカープレート敷					○		
5 昇降路内ビット防水・漏れ水・点検用トラップ							
6 周上出入口穴あけ・同補強・埋戻し・同補修	○						
7 出入口三方枠取付用下地鉄骨設置	○						S造の場合
8 出入口扉・三方枠					○		
9 三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補修					○		
10 中間ビーム取付・ブラケット支持用ベースプレート取付	○						防錆処理含む
11 機械室天井フック取付	○						
12 ホール押しボタン・インジケーター・網番などのコンクリート穴あけ・埋戻し・同補修	○						
13 昇降路・ビット内保守用コンセント		○					
14 機械室電源盤への一次側電気工事	○						
15 機械室電源盤・以降の二次側電気工事					○		
16 昇降路内スピーカー・インターホン用配管(機械室・昇降路内)					○		
17 周上用配管(上記以外)		○					
18 周上用配線					○		
19 運行監視盤							
20 周上配線							
21 周上用配管(機械室・昇降路内)							
22 周上用配管(上記以外)							
23 エスカレーター底部取付のスピーカー・感知器・スプリング							関連工事別
24 周上穴明							
25 エスカレーター区画シャッターとのインロック							
26 周上配管・配線							
27 機械室換気設備							
28 昇降機工事着手前の昇降路・機械室の清掃							
29 昇降機工事着手後の昇降路・機械室の清掃							

工 事 項 目	建築	電気	空調	衛生	昇降機	別途	備考
14. 清掃用コンドラ設備							
1 コンドラ用レール・アンカーボルト		○					
2 周上用制御盤		○					
3 周上用電源・コンセント			○				
15. 機械駐車設備など							
1 機械駐車設備本体		○					
2 周上躯体・基礎・杭・外装		○					
3 周上制御盤・二次側電気配管配線		○					
4 周上二次側配管配線			○				
5 車路管理装置			○				
16. 厨房設備							
1 厨房機器類の製作取付				○			○ 異種用
2 周上給排水・ガス配管				○			○ 図示による
3 周上接続				○			○
4 周上電源コンセント・配管配線			○				
5 フード取付け・ダクト接続			○				
17. その他							
1 機械工事	○						
2 周上取付設備				○			
3 サイン	○						
4 ブランド							○
5 ブランドボックス・カーテンボックス	○						
6 周上カーテンレール	○						○ 図示による
7 カーテン	○						○
8 消火機	○			○			○ 図示による
9 周上設置用ボックス	○						
10 煙突本体・点検口・排煙口・煙道接続口	○						
11 周上排水口	○						
12 エアシャワー	○		○				
13 エアカーテン	○		○				



株式会社INA 新建築研究所
東京・札幌・東北・大阪・九州

訂正

発行	作成	2005.01.31
承認	確認	担当
		設計・土壌

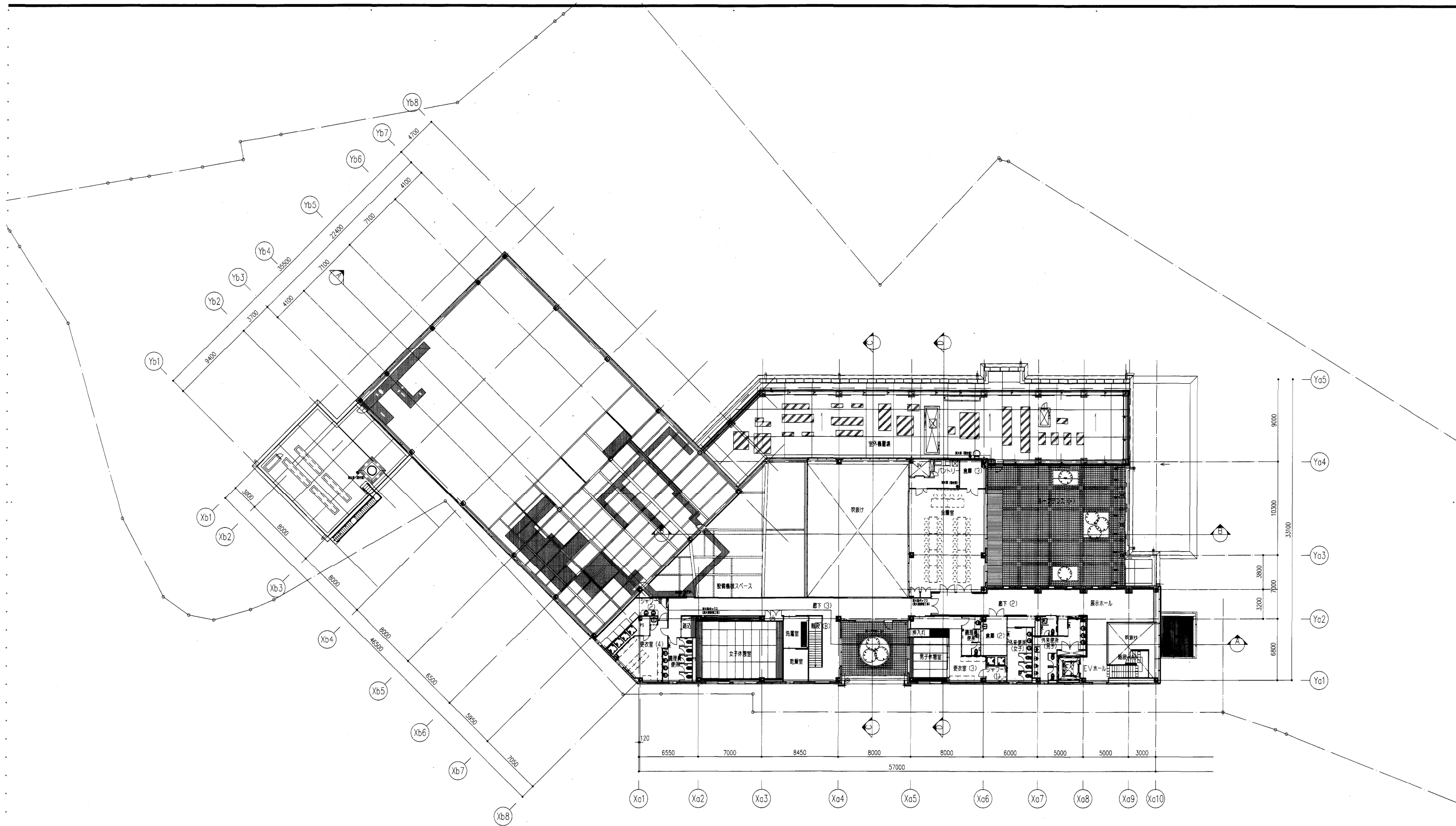
プロジェクト名称	(仮称) 千葉市大宮学校給食センター 新築工事
図面名称	配置図
縮尺	300 (A1) 600 (A3)
図面番号	1 / 600 (A3)

プロジェクトコード	467111
一般監理士事務所	東京昭和建設株式会社
監理士	種門 達夫
一般監理士登録番号	第 177289 号
佐藤 英昭	



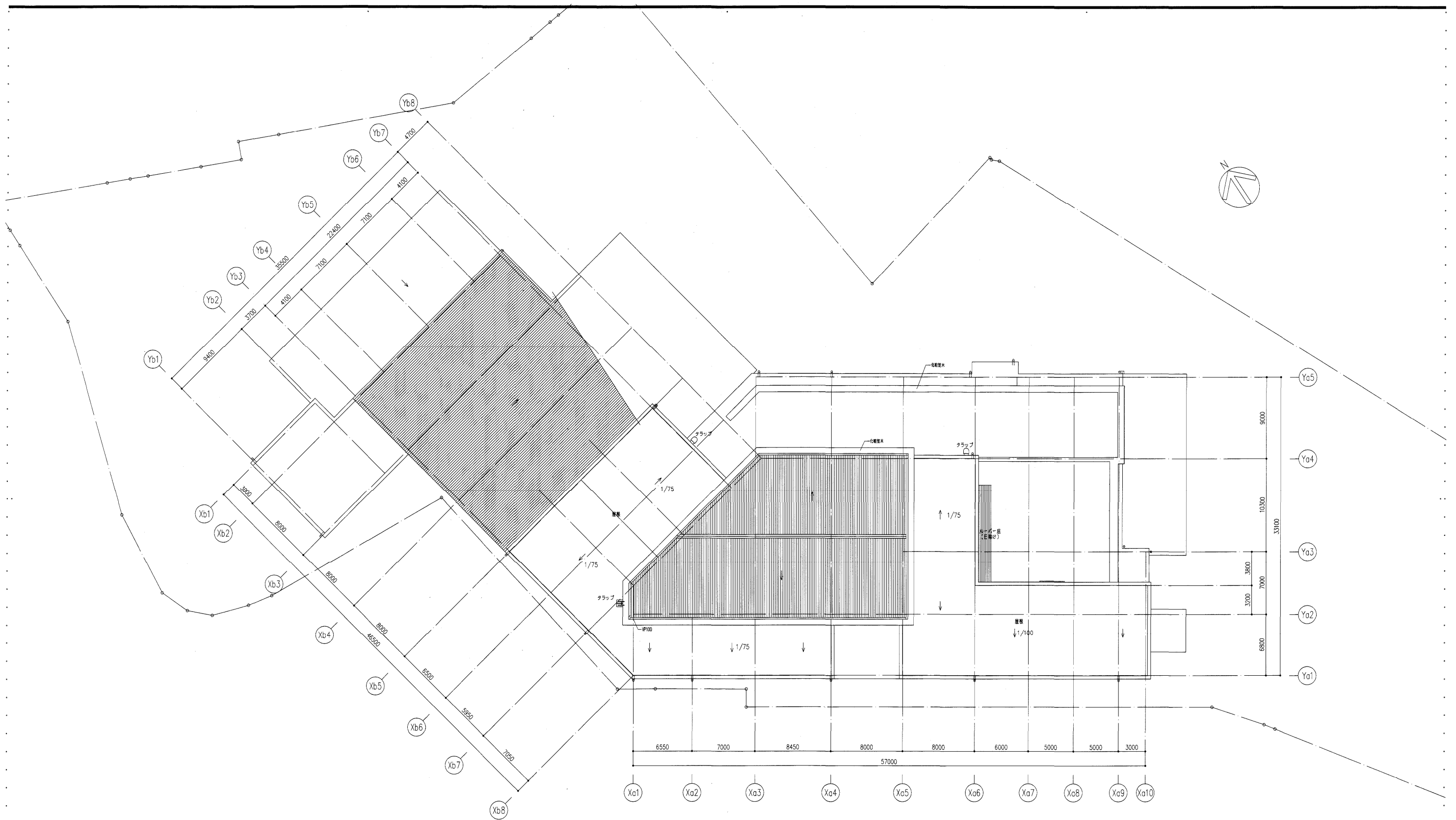
訂正

03102



株式会社INA 新建築研究所
東京・札幌・東北・大阪・九州

訂正				発行	作成	プロジェクト名称	プロジェクトコード
					2005.01.31	(仮称) 千葉市大宮学校給食センター 新築工事	487711
	承認	確認	担当	図面名称	縮尺	図面番号	一般建築士事務所 東京都知事登録第3199号
			隈井・土屋	2階平面図	200 (A1) 1 / 400 (A3)	A-07	管理建築士 龍門 達夫 一般建築士登録 第177289号 佐藤 英昭



株式会社 I N A 新建築研究所
東京・札幌・東北・大阪・九州

訂正

発行

作成

2005.01.31

プロジェクト名称
(仮称) 千葉市大宮学校給食センター 新築工事

プロジェクトコード

467711

承認

確認

担当

設計、土壌

図面名称

屋根伏図

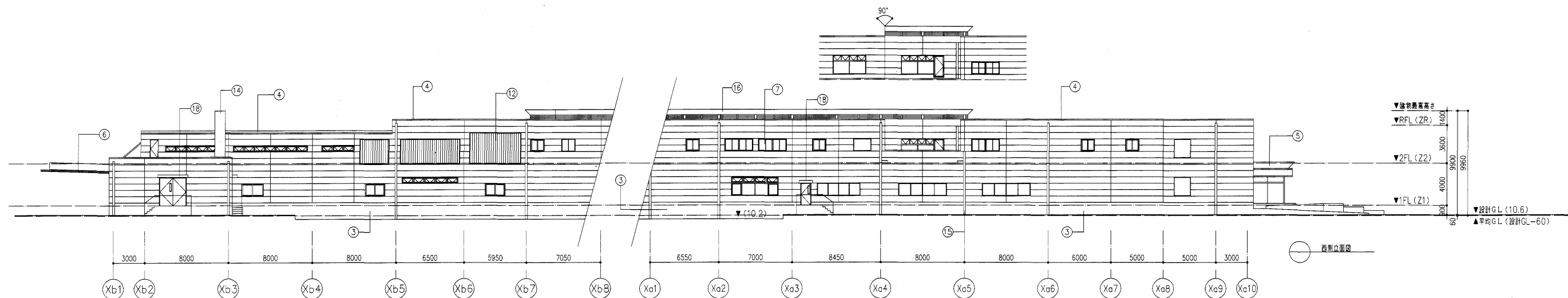
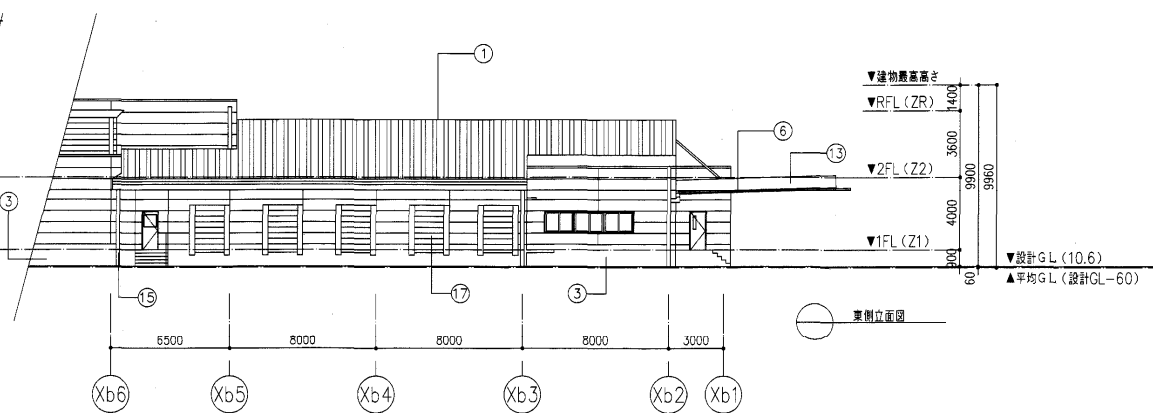
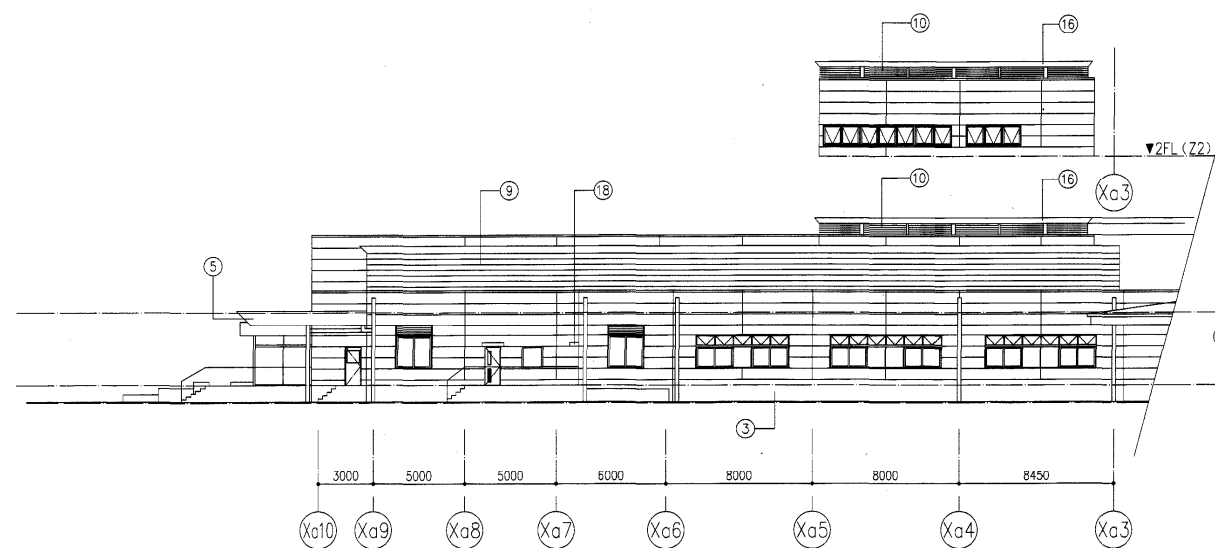
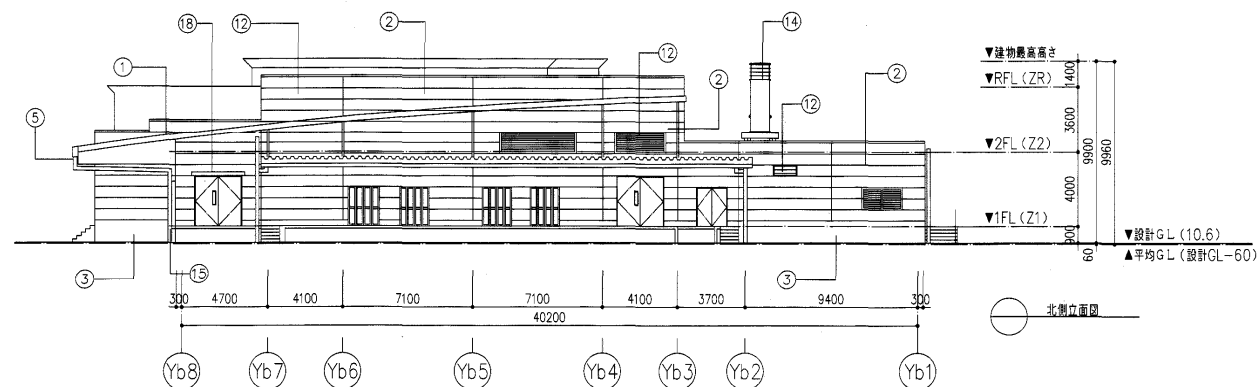
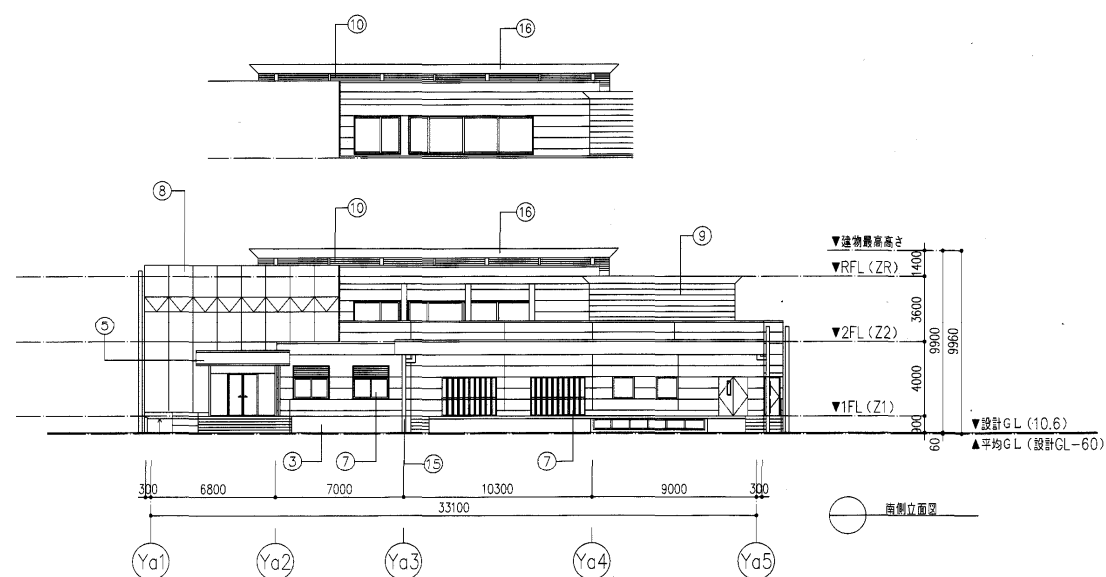
縮尺
1 / 200 (A1)
1 / 400 (A3)

図面番号

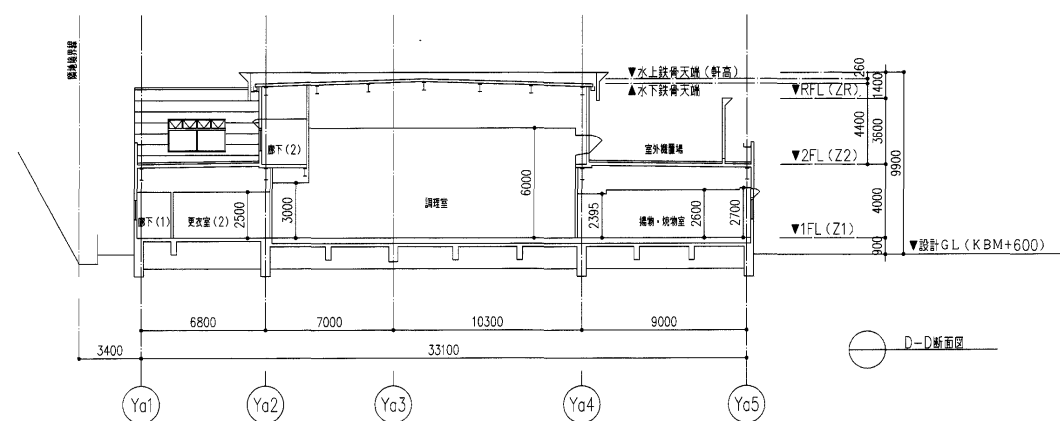
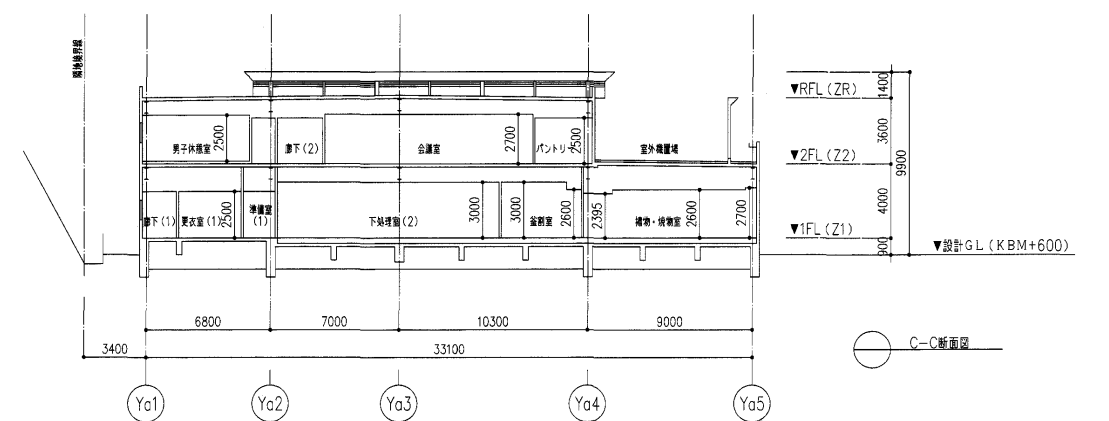
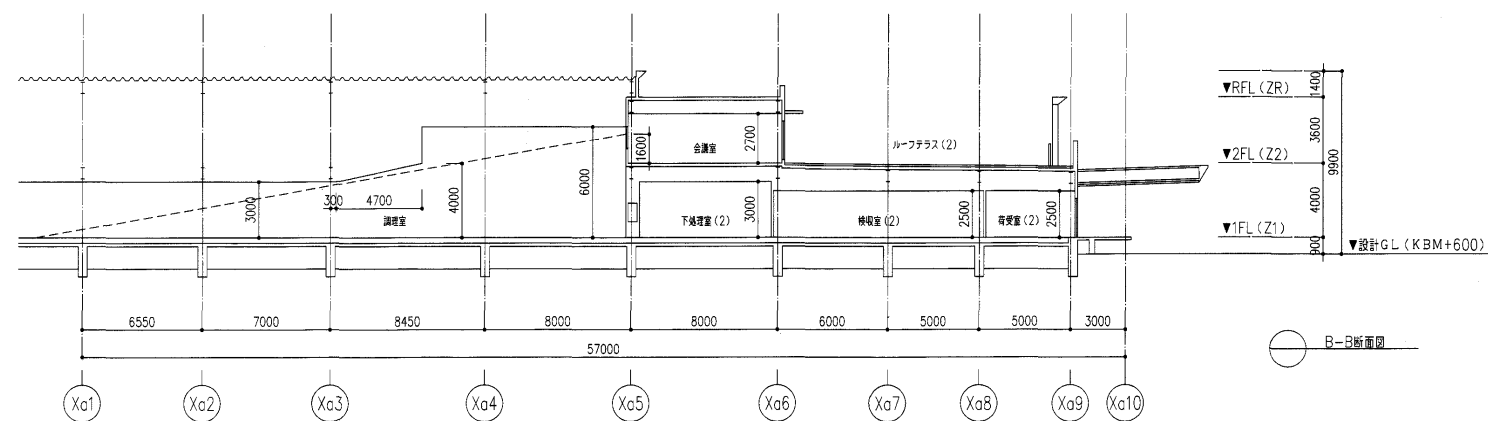
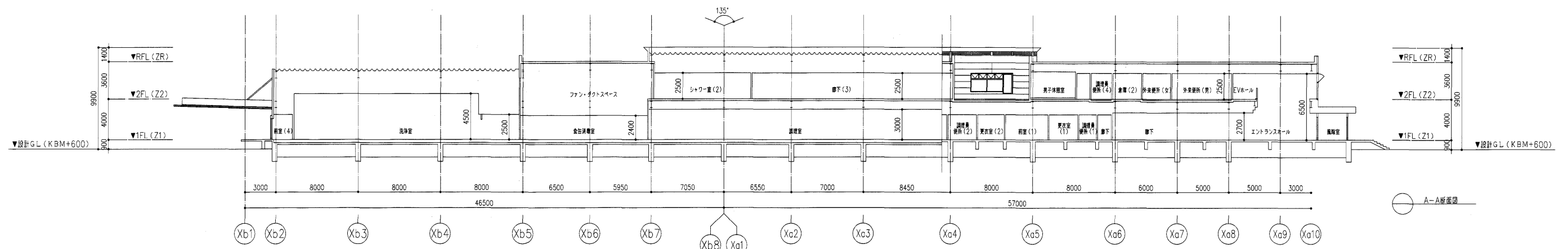
A-08

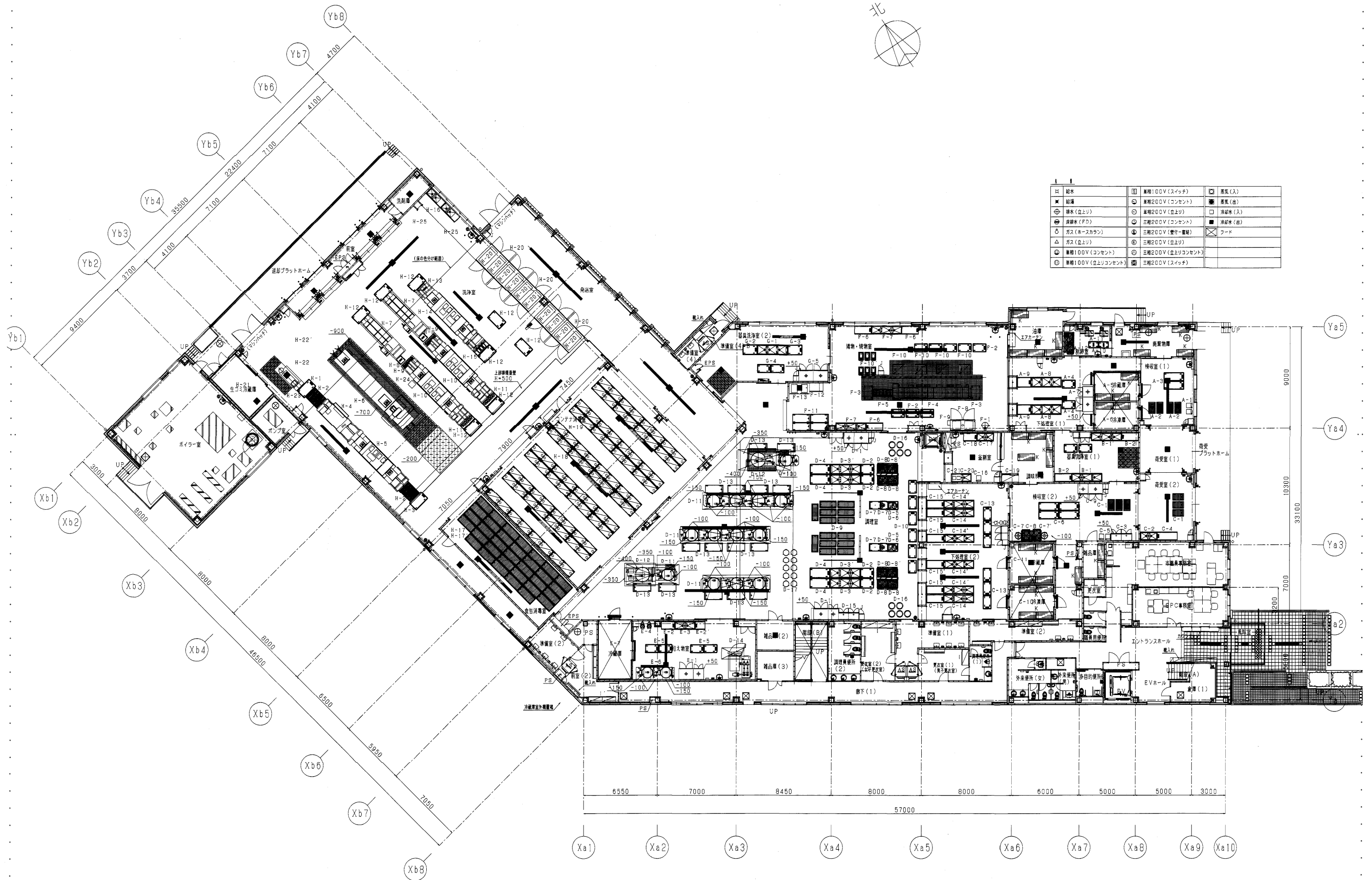
一般建築士事務所 東京設計事業所 第 3199 号
管理建築士 龍門 達夫
一般建築士登録
第 177289 号 佐藤 英昭

001027



①	屋根：フッ素樹脂塗装アルミメッキ鋼板 0.6t 折板置き 山葺 H=166以上 断熱材厚打ち (30分耐火)
②	外壁：フッ素樹脂塗装断熱サンドイッチ鋼板
③	外中水：コンクリート打放し補修の上フッ素樹脂塗装
④	笠木：アルミ笠木
⑤	扉板：カラー溶融亜鉛アルミメッキ鋼板 1.6t 曲げ加工
⑥	底：ルーフデッキ ガルバニウム鋼板 0.8t
⑦	アルミサッシュ
⑧	アルミカーテンウォール
⑨	目隠しルーバー、シズカライト=50張り
⑩	角溶融板換気
⑪	窓枠
⑫	アルミガラリ
⑬	溶融亜鉛メッキ
⑭	煙突
⑮	雨樋
⑯	化粧笠木
⑰	オーバースライダー ドックシェルター付
⑱	扉板：既製品 (ダイケン RSバイザースター扉)





△ 給水	⑧ 三相100V (スイッチ)	☐ 電気 (入)
✕ 給湯	⑨ 三相200V (コンセント)	☐ 電気 (出)
⊕ 排水 (立上り)	⑩ 三相200V (立上り)	☐ 浄排水 (入)
⊖ 排水 (F/D)	⑪ 三相200V (コンセント)	☐ 浄排水 (出)
○ ガス (ホースカラン)	⑫ 三相200V (電灯・電機)	☐ フード
△ ガス (立上り)	⑬ 三相200V (立上り)	
⑭ 三相100V (コンセント)	⑯ 三相200V (立上りコンセント)	
⑰ 三相100V (立上りコンセント)	⑱ 三相200V (スイッチ)	

No	品名	形式	規格寸法 W D H	台数	配管接続口径 給水 給湯 排水	ガス() 口径 kW	電圧(kV) 相数 V 周波数 Hz	冷凍能力 kW/h	冷却能力 kW/h	備考
A-1	<検出室(1)・下処理室(1)>									
1	台秤			2						
2	L型運搬車(ドライ)	DLK-96	900 600 600	4						ドライ仕様
3	移動台	DTM-187	1800 750 850	2						ドライ仕様
4	移動台	DTM-127	1200 750 850	2						ドライ仕様
5	冷蔵庫			1						建築工事
6	冷蔵庫			1						建築工事
7	器具消毒保管庫	ISC-W50F-E	2200 950 1880	1				17.7		
8	3槽シンク		2700 900 850	2	20X3	20X3	40X3			ドライ仕様
9	作業台	DT-120W	1200 900 850	2			32			ドライ仕様
10	移動台		900 600 850	2						ドライ仕様
11	削野菜機	EG-60S	500 750 1250	2				0.3		
12	移動シンク	HMS-96	900 600 850	2						
B-1	<器具洗浄室(1)>									
1	3槽シンク(背立付)		2700 750 850	2	20X3	20X3	40X3			ドライ仕様
2	作業台	DT-157B	1500 750 850	2			32			ドライ仕様
3	移動台	DTM-127	1200 750 850	2						ドライ仕様
C-1	<検出室(2)・下処理室(2)>									
1	L型運搬車	DLK-96	900 600 600	6						ドライ仕様
2	2槽シンク	D82-157B	1500 750 850	1	20x2	20x2	40x2			ドライ仕様
3	保存食用冷蔵庫	SRF-F963SA	900 600 2000	2			幅40	0.526		有効内容積507L
4	処理台		1800 750 850	1			32			
5	台秤			2						
6	移動台	DTM-187	1800 750 850	4						ドライ仕様
7	ピーラー	PL-B2N(H)	610 670 1135	2	20		ビット	0.75		1台は両側手操用
8	ピーラーシンク		900 700 850	3						移動式、打合せ要
9	器具消毒保管庫	ISC-W50F-E	2200 950 1880	1				17.7		
10	冷蔵庫			1						建築工事
11	冷蔵庫			1						建築工事
12	包丁まな板収納庫	SON-60CH	600 600 1350	2				0.4		包丁15本、まな板8枚
13	移動台	DTM-127	1200 750 850	6						ドライ仕様
14	3槽シンク		2700 750 850	6	20X3	20X3	40X3			ドライ仕様、4台背立付、2台背立無し
15	作業台		1500 750 850	6			32			ドライ仕様、4台背立付、2台背立無し
D-1	<金創室>									
16	台秤			1						
17	2槽シンク	D82-157B	1500 750 850	1	20x2	20x2	40x2			ドライ仕様
18	作業台	DT-127B	1200 750 850	1			32			ドライ仕様
19	戸棚	HC-167	1600 760 1600	1						
20	水切付シンク	DS1-187BR	1800 750 850	1	20	20	40			ドライ仕様
21	電動缶切機	K-1000		2				0.1		
E-1	<調理室>									
1	器具消毒保管庫	ISC-W50F-E	2200 950 1880	2				17.7		
2	移動台	DTM-129	1200 900 850	4						ドライ仕様
3	3槽シンク	D83-279B	2700 900 850	4	20X3	20X3	40X3			ドライ仕様
4	移動台	DTM-189	1800 900 850	4						ドライ仕様
5	フードカッター置台	DTM-97	900 750 850	2						ドライ仕様
6	フードカッター	FD-50	640 630 530	2				0.4		
7	ドライ用サイノ目切機	CBM-40-M	700 750 600	2				0.4		移動式
8	サイノ目切機受壇		900 700 700	2						移動式、打合せ要
9	ドライ用野菜切機	HAS-100-M	850 750 600	4	15			0.95		

No	品名	形式	規格寸法			台数	配管接続口径			ガス()	電	気(kW)	注	蒸気			冷却水			備考
			幅	奥行	高さ		給	排水	排水					給	排水	排水	供給量	供給量	供給量	
10	スチームコンベクションオープンローリングカート	NL-120F-GM	1050	850	2020	4	20	給排水	20	51.2		2.3	G						ホテルパン20枚付	
11	運搬台		1500	750	600	4													ドライ仕様、移動式	
12	ウォーマーテーブル	IHS-1275YAG	1200	750	850	1	15					2.3								
13	温蔵庫	HFCT-R2	1800	950	2130	1	15	排水				3.7							専用カート打合せ要	
<器具洗浄室(2)>																				
G-1	3槽シンク		2700	900	850	1	20×3	20×3	40×3										ドライ仕様	
2	テーブル		1300	900	850	1													ドライ仕様、移動式	
3	テーブル		1300	900	850	1													ドライ仕様、移動式	
4	移動台	DTM-127	1200	750	850	2													ドライ仕様	
5	器具消毒保管庫	ISC-W60F-E	2580	950	1880	1						19.5								
<洗浄室>																				
H-1	食巾受台	DTM-15g	1500	900	900	1													ドライ仕様、移動式	
2	ローラーコンベア		1500	600	900	4			25											
3	給理台		1500	900	900	1													ドライ仕様、移動式	
4	食巾下洗機	NPCW-2C-6	2950	1650	2190	1	20	20	50×2			6.3	25			10				
5	食巾洗浄機	CWX4-6NU-M	7250	1500	2205	1	20×2	25	50×2			28.5	25×2			300				
6	コンテナ洗浄機	COW-C-MD	8700	2660	3050	1	20×2	25	50×2			11.5	25×2			490				
7	自動食器洗浄機	JST-46SC	4600	1590	1410	2	25	25×2	40			2.6								
8	瓶台		600	600	860	2			25										ドライ仕様	
9	食器自動供給装置	NCAP-5D	700	1400	1031	2					(0.1)								電源は食器洗浄機に含む	
10	食器洗浄機	DWX4-2NUSB-M	7000	1550	2305	2	20×2	25	50×2			26.8	25×2			320				
11	食器自動整理装置	CAPU-N5D-C	900	1450	1095	2			40			(0.16)							電源は食器洗浄機に含む	
12	移動台	DTM-15g	1500	900	860	8													ドライ仕様	
13	お盆自動供給装置	NCAP-3T	850	1400	1031	1					(0.1)								電源は高圧トレー洗浄機に含む	
14	高圧トレー洗浄機	DWX4-2NB-M	6900	1550	2305	1	20×2	25	50×2			28.90	25×2			320				
15	お盆自動整理装置	CAPU-3T-C	1028	1300	891	1			40			(0.13)							電源は高圧トレー洗浄機に含む	
16	水切付シンク	DS2-187BR	1800	750	850	2	20×2	20×2	40×2										ドライ仕様	
17	移動ラック		1650	750	1720	33													幅3段:11台、幅4段:22台	
18	コンテナ		1270	750	1585	88													打合せ要	
19	コンテナ消毒室		2100	1245		1														

訂正

				発 行	作 成	プロジェクト名称	プロジェクトコード
.	.	.	.		2005.01.31	(仮称)千葉市大宮学校給食センター 新築工事	一般建築士事務所 東京都知事登録第3189号 管理 建築士 龍門 達夫
				承認	確認	担 当	
						図 面 名 称	図 面 番 号
						設計 . 土屋 .	一般建築士登録 第177289号 佐藤 実昭
						厨房機器リスト (参考図)	縮 尺 A-44 1 / Non Scale

修繕等履歴

修繕等履歴

千葉市大宮学校給食センター 長期修繕履歴一覧（施設設備）

実施月	作業名称	備考
2018年4月	排水管洗浄	調理排水の排水管高圧洗浄。
2018年4月	ピット内配管蒸気漏れ修繕	コンテナ洗浄機配管盛替えを実施。（3/10緊急対応込み）
2018年3月	チャッキ弁交換工事	原水ポンプチャッキ弁破損の為、交換を実施。
2018年1月	調理室蒸気漏れ修理	洗浄室立ち上がり配管蒸気漏れを修繕。
2018年1月	制御盤内タイマー故障交換工事	除害施設制御盤タイマー故障の為、交換実施。
2017年10月	自動消毒手洗器修理	調理準備室、自動消毒手洗器交換実施。
2017年9月	調理室蒸気漏れ修理	洗浄室立ち上がり配管蒸気漏れを修繕。
2017年9月	パネル扉修繕工事	防熱扉修繕工事。
2017年8月	原水槽配管修理工事	厨房除害設備内配管補修工事。
2017年8月	制御盤機器交換	空調制御盤機器交換実施。
2017年8月	ブロワーオーバーホール	厨房除害設備ブロワー交換実施。
2017年8月	OHU-3室内温度センサー交換	発送室・コンテナ室空調機温度センサー交換実施。
2017年6月	冷凍機コンデンシングユニット修繕	冷凍機修繕の実施。
2017年6月	シャッターコードリール修繕	重量シャッター、コードリール部品交換実施。
2017年5月	冷温水発生機修繕	屋上冷温水発生機の改修実施。
2017年5月	空調用インバーター制御盤ファン納品	空調用インバーター制御盤ファン納品
2017年5月	地下ピット蒸気配管改修工事	地下ピット蒸気配管改修実施。
2017年4月	冷温水配管修繕工事	屋上冷温水発生機の改修実施。

2017年3月	陥没補修工事	場内陥没の補修。
2017年3月	蒸気配管漏れ修理	洗浄室立ち上がり配管蒸気漏れを修繕。
2016年12月	脱臭ファン交換工事	脱臭ファン発錆につき交換実施。
2016年12月	活性ポンプ、消泡剤ポンプ、攪拌機交換	消泡剤攪拌機発錆につき交換実施。
2016年12月	除害設備フロート及びタイマー交換	厨房除害設備フロート及びタイマー交換実施。
2016年12月	排煙窓修繕	オペレーターの交換実施。
2016年12月	誘導灯交換	不点灯誘導灯交換実施。
2016年12月	伸縮門扉保障工事	場内入口の門扉改修実施。
2016年12月	コンテナ洗浄機蒸気配管交換工事	コンテナ洗浄機蒸気配管交換工事
2016年11月	FFU-2インバータ制御用デジタル調節計交換	FFU-2インバータ制御用デジタル調節計交換実施。
2016年8月	ボイラー室蒸気バルブ交換	ボイラー室蒸気バルブ交換実施。
2016年8月	下処理室空調機修理	下処理室空調機修理実施。
2016年4月	OHU-3温度制御調節計交換	OHU-3温度制御調節計交換実施。
2016年3月	排煙窓改修工事	オペレーター交換実施。
2016年2月	自動消毒手洗器修理	調理準備室・洗浄準備室、自動消毒手洗器交換実施。
2016年1月	リモコンスイッチ交換	荷受室、洗浄室前リモコンスイッチ交換実施。
2016年1月	外灯盤塗装工事	OL-3、6外灯分電盤の塗装を実施。
2016年1月	蒸気配管交換工事	洗浄室蒸気配管交換工事。
2015年12月	防火シャッター修繕	自動閉鎖装置・自走閉鎖装置・連動中継機の交換実施。
2015年10月	原水ポンプ、風量計交換	原水ポンプ、風量計交換実施。
2015年10月	洗浄室、調理室吹出しガラリ内部整備	洗浄室・調理室、ダクト内ケレン・塗装作業を実施。

2015年10月	蒸気配管交換工事	洗浄室立ち上がり配管交換実施。
2015年9月	給気静圧制御調整計交換	OHU-1、3給気制圧用調節計 2 台交換実施。
2015年8月	和え物室ユニットクーラー修理	和え物室ユニットクーラー・モーター・プロペラファン 2 台交換実施。
2015年8月	蒸気配管ヘッダーバルブ交換	蒸気配管ヘッダーバルブ 7 台交換実施。
2015年7月	照明器具交換工事	屋上照明器具交換実施。
2015年6月	調理場系統排風機ファン軸受交換	調理場系統排風機ファン軸受交換実施。
2015年4月	排水管洗浄	排水管洗浄を実施。

調理設備更新(△一部修繕・◎大規模取替・□引渡オーバーホール)計画及び実施状況

						平成	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年		
No.	品名	型式	W	D	H	数量	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	実施状況	
	<検収室(1)・下処理室(1)>																						
A-1	台秤					2															□		29年実施(更新)
2	L型運搬車	DLK-96	900	600	850	4																	
3	移動台	DTM-187	1800	750	850	2																	
4	移動台	DTM-127	1200	750	850	2																	
5	冷蔵庫		3800	2900		1												△					30、31年実施予定
6	冷凍庫		3800	2400		1												△					30、31年実施予定
7	器具消毒保管庫	ISC-W50A-E	2360	950	1900	1											△						27年実施
8	3槽シンク		2700	900	850	2																	
9	作業台	DT-129W	1200	900	850	2																	
10	移動台		900	600	850	2																	
11	割卵機	EG-60S	500	750	1250	2												◎					使用していないため未実施
12	移動シンク	HMS-96	900	600	850	2																	
	<器具洗淨室(1)>																						
B-1	3槽シンク(背立付)		2700	750	850	2																	
2	作業台	DT-157B	1500	750	850	2																	
3	移動台	DTM-127	1200	750	850	2																	
	<検収室(2)・下処理室(2)>																						
C-1	L型運搬車	DLK-96	900	600	850	6																	
2	2槽シンク	DS2-157B	1500	750	850	1																	
3	検食用冷凍庫	SRF-F963SA	900	600	2000	2											△						30、31年実施予定
4	処理台		1800	900	850	1																	
5	台秤					2															□		30、31年実施予定
6	移動台	DTM-187	1800	750	850	4																	
7	ピーラー	PL-82N	610	670	975	2															□		30、31年実施予定
8	ピーラーシンク	DS1-127P	1200	750	600	1																	
9	器具消毒保管庫	ISC-W50A-E	2360	950	1900	1											△						26年実施
10	冷蔵庫		3200	4000		1												△					30、31年実施予定
11	冷凍庫		3000	4000		1												△					30、31年実施予定
12	包丁俎板殺菌庫	SON-600H	600	600	1350	2											△						26年実施
13	移動台	DTM-127	1200	750	850	6																	
14	3槽シンク(背立付)		2700	750	850	6																	
15	作業台	DT-157B	1500	750	850	6																	
	<釜割室>																						
C-16	台秤					1															□		30、31年実施予定

							平成	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年	
No.	品名	型式	W	D	H	数量	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	実施状況	
17	2槽シンク	DS2-157B	1500	750	850	1																	
18	作業台	DT-127B	1200	750	850	1																	
19	戸棚	HC-157	1500	750	1800	1																	
20	水切付シンク	DTS1-187BR	1800	750	850	1																	
21	電動缶切機	K-1000				3											◎						26年2台実施、30年1台実施
	<調理室>																						
D-1	器具消毒保管庫	ISC-W50A-E	2360	950	1900	2											△						26年実施
2	移動台	DTM-129	1200	900	850	4																	
3	3槽シンク	DS3-279	2700	900	850	4																	
4	移動台	DTM-189	1800	900	850	4																	
5	フードカッター置台	DTM-97	900	750	850	2																	
6	フードカッター	FD-50	640	530	530	2											△						26年実施
7	ドライ用サイノ目切機	CBM-40	1400	750	600	2											△						30、31年実施予定
8	ドライ用野菜切機	HAS-10B-DH	1500	750	600	4											◎						26年2台実施、31年2台実施予定
9	移動ラック		1200	600	1390	14																	
10	移動台	DTM-127	1200	750	850	6																	
11	蒸気回転釜	SRB-300NR-D	1973	1282	990	13															□		30、31年実施予定
12	蒸気式グランドケトル	KSMD-800	2050	1000	1600	2											△						30年実施
13	盛付台		1500	750	600	15																	
14	真空冷却機	NSCV-200T	2300	2090	1900	1															□		30.31年実施予定
15	検食用冷凍庫	SRF-F963SA	900	600	2000	2											△						30、31年実施予定
16	ザル置台(ドライ用)	DBM-600H	600		600	10																	
17	スパテラスタンド					10																	
	<和え物室>																						
E-1	器具消毒保管庫	ISC-W50A-E	2360	950	1900	1											△						26年実施
2	作業台	DT-127B	1200	750	850	2																	
3	2槽シンク	DS2-187B	1800	750	850	1																	
4	高速度ミキサー	MX-40	335	435	940	2											△						26年実施
5	移動台	DTM-127	1200	750	850	4																	
6	和え物用回転釜	SRB-200NR-D-WC	1656	975	927	2															□		30.31年実施予定
7	冷蔵庫		2800	4800		1													△				30.31年実施予定
	<揚げ物・焼物室>																						
F-1	油濾過機					1											◎						30年実施予定
2	移動台	DTM-127	1200	750	850	8																	
3	移動台	HM-127	1200	750	850	2																	

						平成	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年			
No.	品名	型式	W	D	H	数量	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	実施状況		
4	連続式揚物機	FAG-N7L	7000	1427	1520	1										◎						30年実施予定		
5	油切コンベヤ	MW-600	1800	600	620	1										◎						26年実施		
6	作業台	DT-157B	1500	750	850	3																		
7	3槽シンク(背立付)		2700	900	850	2																		
8	消毒保管庫	ISCT-S2A-E	2200	1035	2220	1											△							
	操作盤					1											△							
9	スチームコンベクションオープン	NL-120L-G	960	990	1875	4											◎						25年、26年実施	
10	運搬台		1500	750	600	4																		
11	ウォーマーテーブル	HIS-1275YAG	1200	750	850	1											△							
12	温蔵庫	HFCT-R2	1800	950	2130	1											△							
	<器具洗浄室(2)>																							
G-1	3槽シンク(背立付)		2700	750	850	1																		
2	テーブル		1300	750	850	1																		
3	テーブル		1300	750	850	1																		
4	移動台	DTM-127	1200	750	850	2																		
5	器具消毒保管庫	ISC-W60A-E	2740	950	1900	1											△							
	<洗浄室>																							
H-1	食缶受台	DTM-159	1500	900	400	1																		
2	ローラーコンベア		1500	600	850	4																		
3	処理台		1500	900	850	1																		
4	食缶下洗機	NPCW-2C-6	2950	1650	2190	1											△						26年、28年実施	
5	食缶洗浄機	CWX4-6NU-M	7250	1500	2205	1											△						26年、28年実施	
6	コンテナ洗浄機	COW-C-MD	8700	2660	2950	1											△						26年、29年実施	
7	自動食器浸漬槽	JET-46BC	4600	1590	1410	2											△						26年実施	
8	脇台		600	600		2																		
9	食器自動供給装置	NCAP-6D	1360	900	1225	2											◎						26年実施	
10	食器洗浄機	DWX4-2NUSB-M	7000	1550	2305	2											△							
11	食器自動整理装置	CAPU-6D.C	1706	1003	883	2											◎						26年実施	
12	移動台	DTM-159	1500	900	850	8																		
13	お盆自動供給装置	NCAP-4T				1											◎						26年実施	
14	高圧トレー洗浄機	DWX4-2NB-M	7300	1550	2550	1											△							
15	お盆自動整理装置	CAPU-4T.C				1											◎						26年実施	
16	水切付シンク	DTS2-187BR	1800	750	850	2																		
17	移動ラック		1650	750	1520	33																		
18	コンテナー		1250	750		88											△						27年実施	
19	コンテナー消毒室		20500	1200		1																		

						平成	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年		
No.	品名	型式	W	D	H	数量	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	実施状況	
20	カートイン戸棚		2200	2000	2220	5										△						25年実施	
21	残滓冷蔵室		2900	4800		1												△				30、31年実施予定	
22	残滓計量コンベアー					1										△						30、31年実施予定	
23	減容機					1										△						30、31年実施予定	
24	高圧ポンプ					2										△						30、31年実施予定	
	<更衣室>																						
I	白衣・靴殺菌庫		1200	600	1800	7										△						26年実施	
	<各室>																						
J	掃除用具入れ		500	500	1800	16																	
	<各冷凍冷蔵庫・調味料庫等>																						
K	ラック		1518	613	1892	30																	
L	温度管理システム					1															□	30、31年実施予定	

大宮学校給食センター長期修繕実施履歴一覧【機器修繕】

作業実施年月	内容
24.3	蒸気回転釜2台、安全弁・バルブ他交換
24.3	グラントケトル 電磁弁・バルブ等交換
24.4	熱風発生装置 ヘアリング交換
25.7	スライサー、モーター・インバーター・Vベルト交換、食缶洗浄機従動ローラー、非常停止スイッチツミ他修理
25.7	保管庫 水漏れ修理
26.1	コンテナ洗浄機出入り口扉他交換、食缶洗浄機電磁弁類他交換等点検後不具合箇所修繕一式
27.3	食缶洗浄機 ガイドパイプ一式他交換
27.3	コンテナ修理扉、キャスター交換15台
28.8	食缶洗浄機洗浄ポンプ(ツインポンプ)交換
28.8	食缶下洗浄機 押さえコンベアー1台分交換、食缶洗浄機 押さえコンベアー450巾 650巾各1台分ずつ交換
28.8	食缶下洗機・食缶洗浄機 点検後修理
29.6	コンテナ洗浄機COW-C-MD 下部レール ヒロブロック他交換

大宮学校給食センター長期修繕実施履歴一覧【機器更新】

[illegible]

施設譲渡前修繕工事（作成中）